

2023年度

「授業評価アンケート」の結果
および評価報告書
(前期)

北海商科大学

目 次

I. 授業評価アンケートの実施について	3
1. 授業アンケート調査実施の趣旨	3
2. 調査の実施方法	3
3. アンケート回収結果	3
4. アンケート調査項目	4
5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について	8
6. 教員返却用集計フォーム	9
II. 集計結果について	11
1. 全科目の単純集計結果について	11
2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について	14

I. 授業評価アンケートの実施について

1. 授業アンケート調査実施の趣旨

大学教育の質的向上を図るため日常的に教育活動の点検・評価を実施し、その成果と到達点を検証して改善に努めることは、こんにちあらゆる大学に課せられた社会的責任となっています。本学でもそうした社会的要請に応えるべく、教育方法改善委員会のもとで2009年度より継続して調査・点検が行われてきました（2020年度は新型コロナウイルス感染症により異なる方法にて実施）。

この調査の目的は、各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。このたび2023年度前期開講科目に関する調査結果がまとまりましたので、ここに報告いたします。

2. 調査の実施方法

- (1) 調査方法：CoursePowerを利用したアンケート調査
- (2) 調査期間：2023年7月15日（土）～8月4日（金）
- (3) 調査対象：開講全科目・全学年の授業（専任・非常勤を含む全ての授業）。
ただし、履修者2名以内の科目は除く。
- (4) 調査内容・形式：全科目カテゴリー共通の調査票でアンケートを実施。「学生の行動」「授業手法・教員の行動」「授業内容」「教育効果」などに関する「選択式回答21項目」「自由記述回答3項目」で回答を得る。

3. アンケート回収結果

アンケート回収結果は、表1の通りです。

表1 授業アンケート実施状況

授業科目カテゴリー	(A) 対象 クラス数	(B) 実施 クラス数	(C) 実施率 (B/A)%	(E) 対象クラ ス受講者数	(F) 実施クラ ス回答者数	(G) 回答率 (F/E)%
(1) 異文化交流科目（語学）	19	19	100	211	107	50.7
(2) 異文化交流科目 社会と文化 (社会文化ゼミナール)	9	9	100	167	74	44.3
(3) 異文化交流科目 社会と文化 (社会文化ゼミナール以外)	16	16	100	881	432	49.0
(4) 専門基礎科目	13	13	100	531	337	63.5
(5) 専門関連科目	25	25	100	1,436	588	40.9
(6) 商学科専門科目	21	21	100	665	224	33.7
(7) 観光産業学科専門科目	16	16	100	287	99	34.5
(8) 専門キャリアアップ科目	16	16	100	467	203	43.5
(9) 教職に関する科目	10	10	100	121	54	44.6
合計	145	145	100	4,766	2,118	44.4

4. アンケート調査項目

Q1. この授業を選択した理由は何ですか。（必須）

- 5 興味・関心があったから
- 4 役に立ちそうだったから
- 3 卒業に必要だったから
- 2 時間が空いていたから
- 1 友人等に薦められたから
- 0 何となく

Q2. この授業への出席率は何%ですか。（必須）

- 5 80%以上
- 4 60%以上
- 3 40%以上
- 2 20%以上
- 1 ほとんど出席していない

Q3. 授業中（オンデマンド型授業を含む）、その時間内は集中できましたか。（必須）

- 5 大変集中した
- 4 ある程度集中した
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり集中しなかった
- 1 全く集中しなかった
- 0 よくわからない

Q4. 授業のなかでわからないことがあれば質問しましたか。（必須）

- 5 よく質問した
- 4 ある程度質問した
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり質問しなかった
- 1 全く質問しなかった
- 0 よくわからない

Q5. シラバスに学習時間（予習・復習）等の内容が記載されておりますが、当該科目の1週間の平均的な学習時間（予習・復習・課題）はどれくらいですか。（必須）

- 5 4時間以上
- 4 3時間以上4時間未満
- 3 2時間以上3時間未満
- 2 1時間以上2時間未満
- 1 1時間未満

Q6. 教員は十分な準備と熱意で授業を行ったと感じましたか。（必須）

- 5 十分な準備と熱意で授業を行ったと感じた
- 4 準備と熱意で授業を行ったと感じた
- 3 どちらともいえない
- 2 十分とはいえないと感じた
- 1 不十分であったと感じた
- 0 よくわからない

Q7. 教員が授業で話す言葉は、明瞭で聞き取りやすかったですか。（必須）

- 5 非常に明瞭で聞き取りやすかった
- 4 明瞭で聞き取りやすかった
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり明瞭ではなかった
- 1 聞き取りにくかった
- 0 よくわからない

Q8. 授業の進行速度はどう思いましたか。(必須)

- 5 非常に良い
- 4 良い
- 3 普通
- 2 あまり良くない
- 1 良くない
- 0 よくわからない

Q9. 教員は学生の理解度を確認し、必要に応じて補足しましたか。(必須)

- 5 非常によく補足した
- 4 よく補足した
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり補足しなかった
- 1 まったく補足しなかった
- 0 よくわからない

Q10. 教員は、対面・遠隔授に応じて、黒板や視聴覚機器などを有効かつ適切に使用していませんか。(必須)

- 5 非常に有効かつ適切に使用していた
- 4 ある程度有効に使用していた
- 3 どちらともいえない
- 2 有効かつ適切ではなかった
- 1 不適切であった
- 0 よくわからない

Q11. (対面授業の場合) 教員は私語などの講義を妨害する不適切な行動を止めていましたか。(必須)

- 5 止めていた
- 4 ときどき止めていた
- 3 どちらともいえない
- 2 ほとんど止めていなかった
- 1 まったく止めていなかった
- 0 よくわからない

Q12. 教員は学生の質問に適切に対応しましたか。(必須)

- 5 非常に適切に対応した
- 4 ある程度適切に対応した
- 3 どちらともいえない
- 2 対応していなかった
- 1 まったく対応していなかった
- 0 よくわからない

Q13. レポートや課題、小テストは授業の理解に役立ちましたか。(必須)

- 5 非常に役に立った
- 4 ある程度役に立った
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり役に立たなかった
- 1 全く役に立たなかった
- 0 よくわからない

Q14. 試験回数や採点方法は適切でしたか。(必須)

- 5 非常に適切であった
- 4 ある程度適切であった
- 3 どちらともいえない
- 2 適切ではなかった
- 1 まったく適切ではなかった
- 0 よくわからない

Q15. 教科書や配布資料は分かりやすいものでしたか。(必須)

- 5 非常にわかりやすかった
- 4 ある程度わかりやすかった
- 3 どちらともいえない
- 2 わかりやすくはなかった
- 1 わかりにくかった
- 0 よくわからない

Q16. 授業内容はよく理解できましたか。(必須)

- 5 非常によく理解できた
- 4 ある程度理解できた
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり理解できなかった
- 1 全く理解できなかった
- 0 よくわからない

Q17. 授業展開はシラバス(講義概要)に沿ったものでしたか。(必須)

- 5 シラバスに沿ったものであった
- 4 おおむねシラバスに沿ったものであった
- 3 どちらともいえない
- 2 シラバスに沿った点は少なかった
- 1 シラバスに沿ったものではなかった
- 0 よくわからない

Q18. 授業内容は今後の勉学や社会生活に役立つと思いましたか。(必須)

- 5 非常に役に立つと思う
- 4 ある程度役に立つと思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり役に立つと思わない
- 1 全く役に立つとは思わない
- 0 よくわからない

Q19. 授業は知的好奇心を刺激し、さらに学習の意欲をかきたてるものでしたか。(必須)

- 5 知的好奇心を強く刺激され、さらに学習の意欲もかきたてられた
- 4 ある程度知的好奇心は刺激された

- 3 どちらともいえない
- 2 知的な好奇心は刺激されなかった
- 1 知的な好奇心は全く刺激されなかった
- 0 よくわからない

Q20. 遠隔授業の場合、教員による遠隔授業の準備や運営方法は適切で学習しやすかったですか。(必須)

- 5 非常に適切で学習しやすかった
- 4 ある程度学習しやすかった
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり適切ではなかった
- 1 まったく適切ではなく学習しにくかった
- 0 よくわからない

Q21. 授業は全体として満足できるものでしたか。(必須)

- 5 非常に満足できた
- 4 満足できた
- 3 どちらともいえない
- 2 満足できなかった
- 1 まったく満足できなかつた
- 0 よくわからない

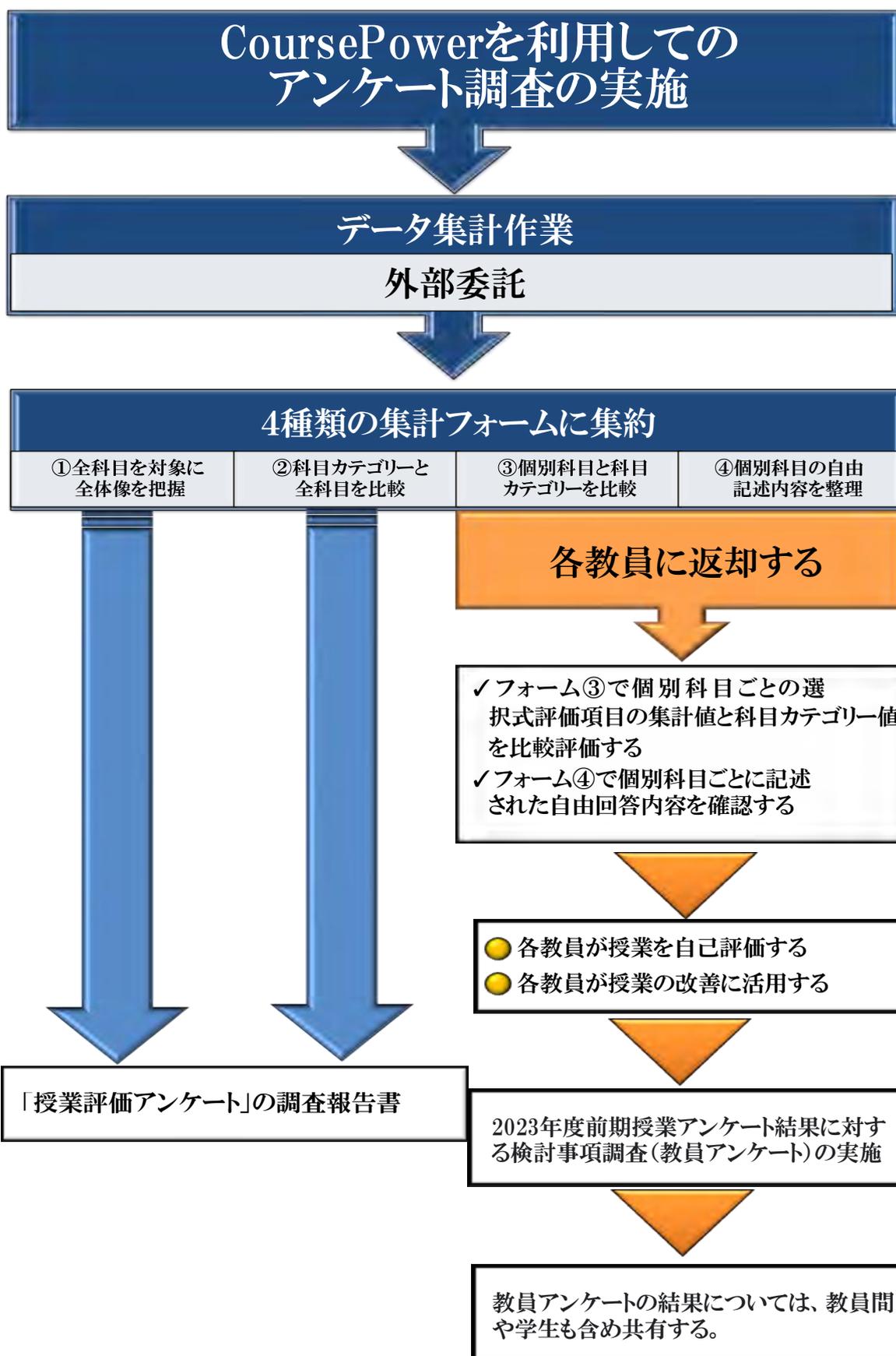
Q22. この授業で特に良かった点は何ですか。 ※300文字まで入力可

Q23. この授業で特に改善してほしい点は何ですか。 ※300文字まで入力可

Q24. その他に意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの趣旨に反しますので、ご留意下さいますようお願い申し上げます。) ※300文字まで入力可

5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について

既述したように、この調査の目的は各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。今回のアンケート調査結果と授業改善に向けた活用の仕組みは以下の通りです。



6. 教員返却用集計フォーム

各教員に返却された前ページの集計フォーム③、④のサンプルを以下に掲げます。

授業アンケート結果集計表

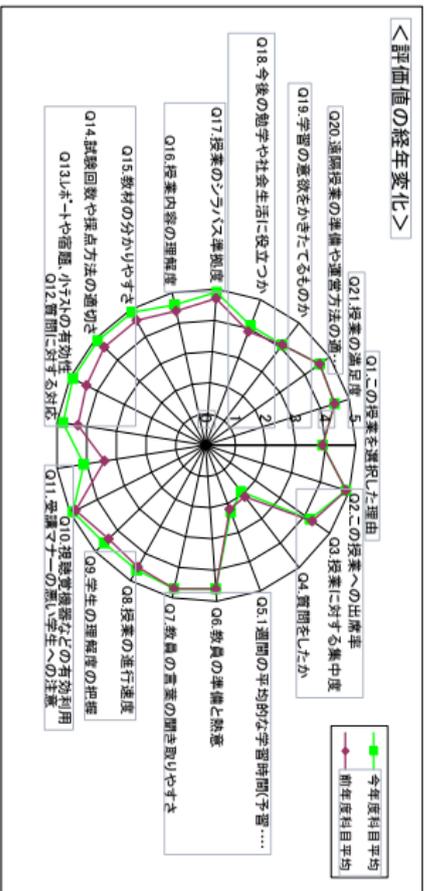
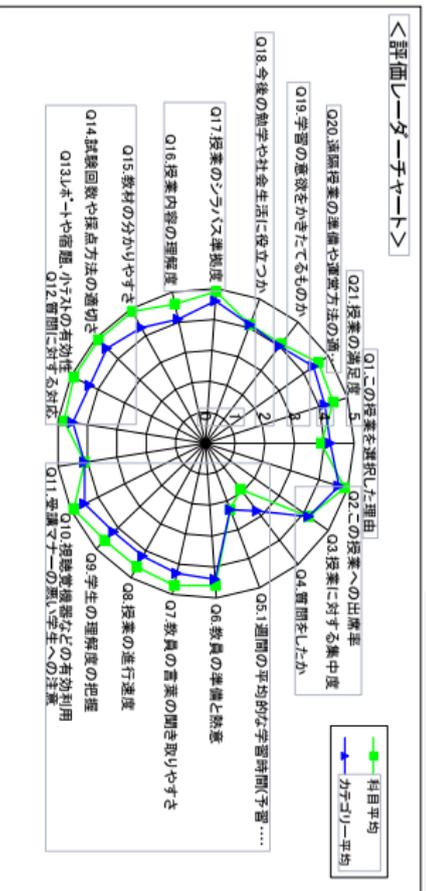
教員返却用集計フォーム③サンプル

2023年度前期 北海道大学

教員名	(O O O O O)	履修者数	40名
科目名	(△△△△△学)	回収数	14枚
カテゴリー	××××	回収率	35.0%

回答分布(人数と平均値・標準偏差)	質問内容					上段:平均値		下段:標準偏差	
	5	4	3	2	1	0-無回答	当科目	カテゴリー	
01.この授業を選択した理由	7	0	5	0	1	1	3.9	4.2	
02.この授業への出席率	50.0%	0.0%	35.7%	0.0%	7.1%	7.1%	1.27	1.14	
03.授業に対する集中度	12	2	0	0	0	0	4.9	4.7	
04.質問をしたか	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.35	0.71	
05.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	3	11	0	0	0	0	4.2	4.2	
06.教員の準備と熱意	21.4%	78.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.41	0.82	
07.教員の言葉の聞き取りやすさ	0	1	3	4	6	0	1.9	2.8	
08.授業の進行速度	0.0%	7.1%	21.4%	28.6%	42.9%	0.0%	0.96	1.49	
09.学生の理解度の把握	1	0	5	4	4	0	2.3	2.3	
10.視覚覚醒機器などの有効利用	7.1%	0.0%	35.7%	28.6%	28.6%	0.0%	1.10	1.20	
11.受講データの悪い学生への注意	8	6	0	0	0	0	4.6	4.4	
12.質問に対する対応	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.50	0.81	
13.レポートや宿題、小テストの有効性	10	4	0	0	0	0	4.7	4.3	
14.試験回数や採点方法の適切さ	9	5	0	0	0	0	4.6	4.2	
15.教材の分かりやすさ	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.48	0.82	
16.授業内容の理解度	10	3	1	0	0	0	4.6	4.2	
17.授業のソラバス準拠度	71.4%	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.61	0.89	
18.今後の勉学や社会生活に役立つか	12	2	0	0	0	0	4.9	4.5	
19.学習の意欲をかきたてるものか	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.35	0.73	
20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	7	1	3	0	1	2	4.1	4.1	
21.授業の満足度	50.0%	7.1%	21.4%	0.0%	7.1%	14.3%	1.26	1.11	

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を示す。



自由記述一覧

2023年度前期 北海商科大学

教員名：〇〇〇〇〇

科目名：△△△学

Q22 この授業で特に良かった点は何ですか。

項番	内 容
1	スライド説明
2	課題の提出期間が長めに設定されていた点。
3	経済の必要な知識を入れ、資格を取るのに関係する内容がよかった。
4	スライドの内容をレジュメとして事前にUPしてあったので、それを印刷して授業中に気になることがあつたら書きこむことができた点対面で出た週も復習として動画を活用することができた点
5	毎回配られるレジュメが活用しやすかった。
6	課題内容がとても良かった。講義を深く理解していないと解けないところや、自分で調べないといけなかったところがあった。それらは講義内容を深く理解する大きな要因だったと考えられる。

Q23 この授業で特に改善してほしい点は何ですか。

項番	内 容
1	内容をもっとわかりやすく
2	テストの答えを教えてほしいです。
3	この授業はグループワークやペアワークをするような内容ではないのでコロナが過去最高となった今完全に落ち着くまではオンデマンドで対応すべきだと思うコロナを気にせず遊んでいるような人と授業を受けるのは基礎疾患を持っている私からすると不安で仕方ない
4	テストの解答を表示してほしい。自分がどこを間違っていたのかわからない。
5	オンラインで受講する週の前回の課題の解説の部分が、動画の画質の問題か字がつぶれていて判読できなかったのをそこを改善してほしい。
6	グラフの説明が機械的すぎると思った。グラフが動くのを英単語で表すに最初はすごく混乱した。もう少し機械的ではなくかみ砕いて説明すればよいと考える。一方でその動く原因を実際の出来事を例としているところはよいと思った。

Q24 その他の意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの趣旨に反しますので、ご留意下さいますようお願い申し上げます。)

項番	内 容
1	特になし



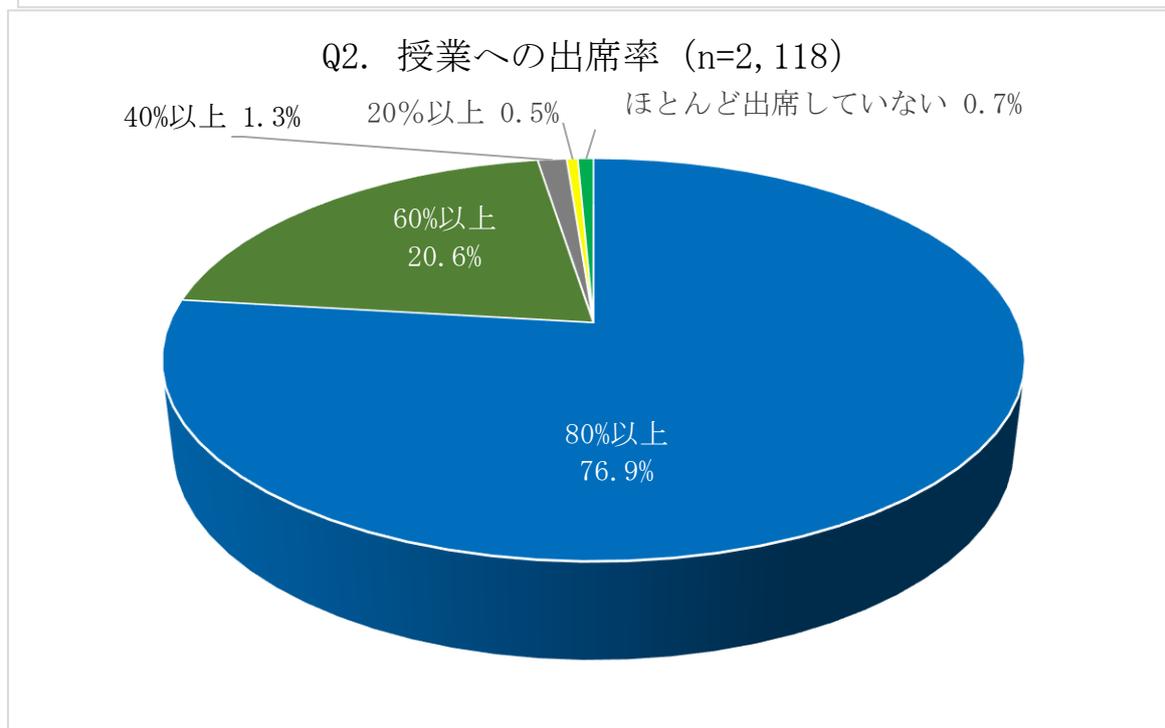
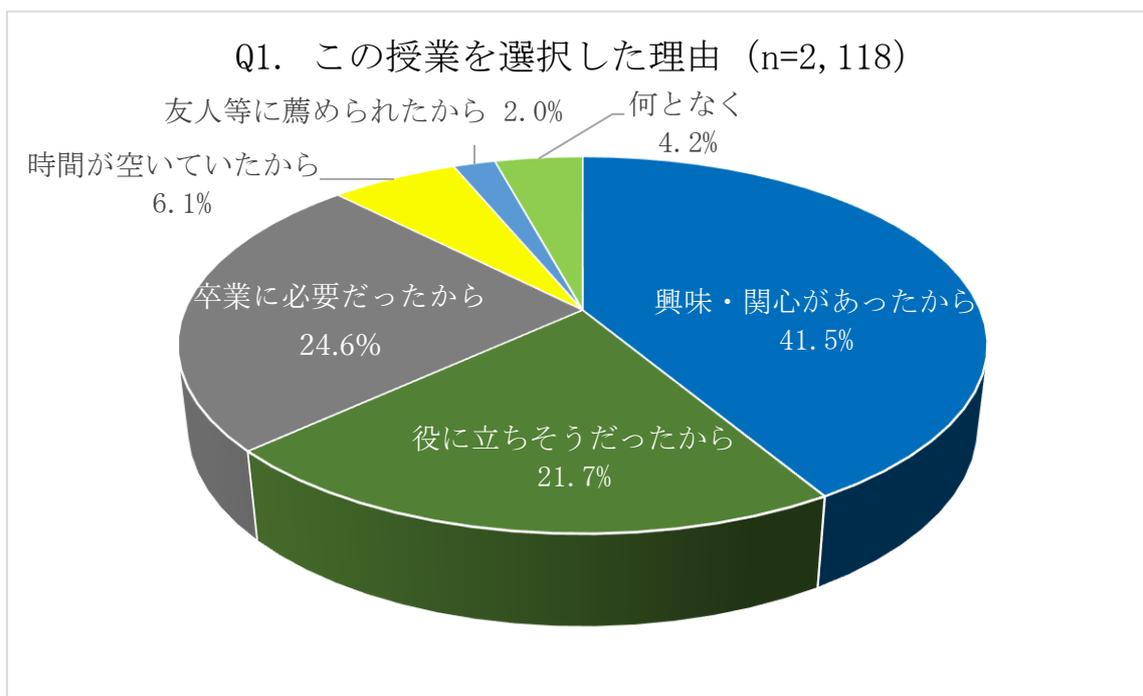
4 2 2 - 0 8 0 2 7 - 1 4

II. 集計結果について

1. 全科目の単純集計結果について

ここでの集計表は、評価項目別の回答結果を単純に集計したものです。表では評価値として平均値を算出していますが、これは評価項目別に回答結果を評価点（1～5点）で加重平均したものです。また平均値の下段の標準偏差は、回答のバラツキの大小を表しています。各評価項目の平均値は「5」に近ければ良好な評価となり、標準偏差は小さければ回答のバラツキが小さいことを表します。したがって、評価平均値が「5」に近く標準偏差が小さいほど優良な評価を意味することになります。一方、レーダーチャートに表示されている平均値では、評価項目別の評価の良否と全評価項目のバランスを同時に検討することができます。

(1) 講義の選択動機と出席率について (Q1. Q2.)



(2) 学生の受講姿勢 (Q3.～Q5.) と授業評価 (Q6.～Q21.) について

Q3.～Q5. までは、学生の授業に対する受講姿勢に関する質問です。「Q3. 授業に対する集中度」は遠隔授業の場合も含み全科目の平均値で「4.3」と高い結果であったが、授業に対する積極性を問う「Q4. 質問をしたか」については、「3.0」でQ3.と比較すると低い値であり、積極性に問題点あり、前年度よりは改善されたとはいえ依然として低調といえます。また、それ以上に問題と思われるのは、学習に対する主体性を問う「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」において、「1時間未満」とした回答が43.1%と最も多く、「1時間以上2時間未満」が32.7%と続いており、75.8%が1週間で2時間も勉強していないこととなります。

Q6.～Q21.の授業評価については以下の通りです。「Q11.（対面授業の場合）受講マナーの悪い学生への注意」の平均値は「4.3」、標準偏差は1.02、また「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」の平均値は「4.1」、標準偏差は1.09、より教員対応に偏りが見られます。「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」、「Q12. 質問に対する対応」、「Q17. 授業のシラバス準拠度」の3項目は平均値「4.5」と最も高い結果となりました。「Q6. 教員の準備と熱意」、「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」、「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」が平均値「4.4」で続く結果となりました。その他の項目でもQ1、Q4、Q5以外はすべて「4.1」以上であり、全体としての傾向は悪くありませんが、前年度よりは若干下がっています。

なお、各回答のバラツキを表す標準偏差は、Q4、Q5、Q11、Q19 以外は概ね「0.7～1.0」の近傍にあり、質問項目間で大きな差は認められません。例年通りの傾向です。

一方、Q22.～Q24.の自由記述欄への回答に関しては以下の通りです。「Q22. この授業で特に良かった点は何ですか」との問いに対しては、全体で468件の回答がありました。また、

「Q23. この授業で特に改善して欲しい点は何ですか」の問いに関しては、回答が229件（特になしは除く）、「Q24. その他の意見・要望があればご記入下さい」については76件（特に無し、ありがとうございましたを除く）の回答が寄せられました。これらの回答内容については、後述の科目カテゴリー別のアンケート結果欄において個別にコメントされます。

また、アンケートに対する回答率が前年度より改善されたとはいえ、いまだ50%未満であることは遺憾であり、より多くの学生の声をふまえていく必要性を痛感しております。

なお、既述の通りこれら自由回答欄の内容は「集計フォーム④」として整理され、「集計フォーム③」とともに各科目の担当教員に返却されており、今後の授業改善に向けた参考資料として活用されます。

その後、2023年度前期授業アンケート結果に対する検討事項調査（教員アンケート）を実施し、その結果は、教員間や学生も含めて情報共有し、教員のFD向上さらには学生の勉学の向上のための基礎資料として利活用しています。

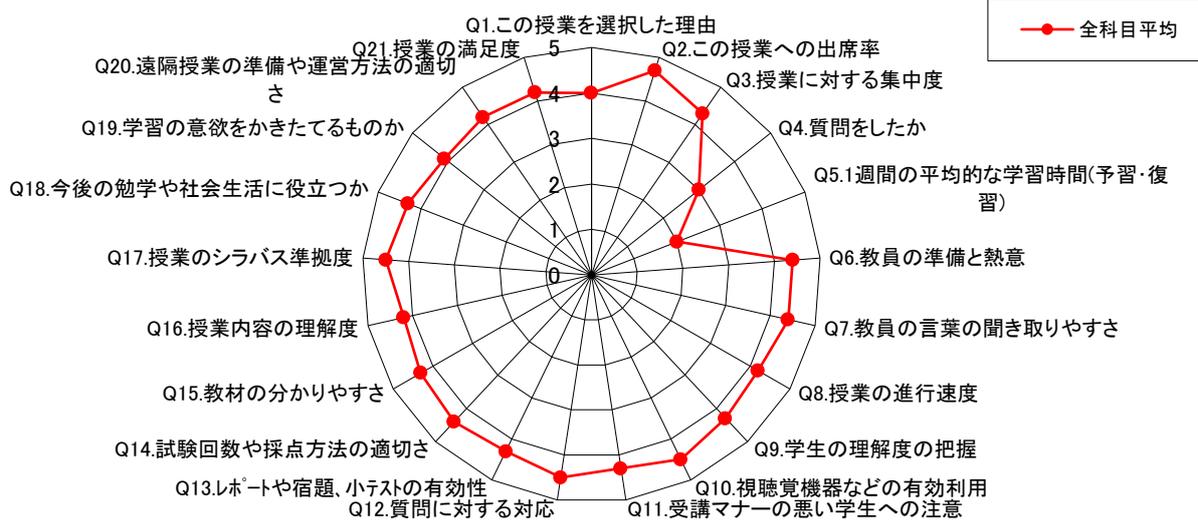
上段: 平均値
下段: 標準偏差

項目別回答分布(人数と平均値・標準偏差)

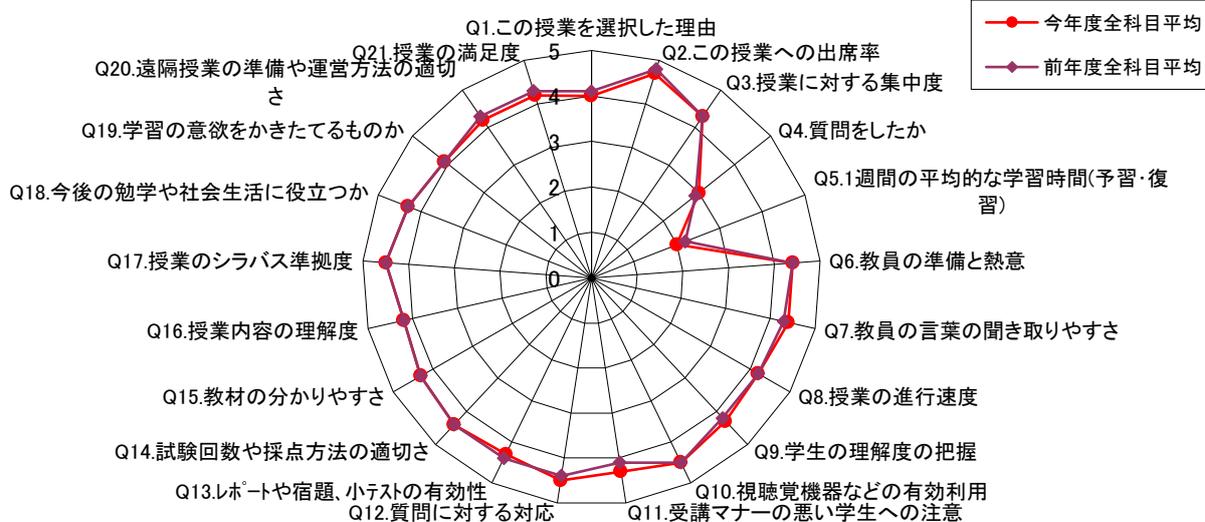
質問内容	5	4	3	2	1	0-無回答	全科目
Q1. この授業を選択した理由	878 41.5%	459 21.7%	520 24.6%	129 6.1%	42 2.0%	90 4.2%	4.0 1.06
Q2. この授業への出席率	1628 76.9%	437 20.6%	27 1.3%	11 0.5%	15 0.7%	0 0.0%	4.7 0.58
Q3. 授業に対する集中度	937 44.2%	849 40.1%	192 9.1%	75 3.5%	17 0.8%	48 2.3%	4.3 0.83
Q4. 質問をしたか	379 17.9%	404 19.1%	504 23.8%	277 13.1%	476 22.5%	78 3.7%	3.0 1.42
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	125 5.9%	111 5.2%	277 13.1%	693 32.7%	912 43.1%	0 0.0%	2.0 1.14
Q6. 教員の準備と熱意	1278 60.3%	546 25.8%	162 7.6%	55 2.6%	36 1.7%	41 1.9%	4.4 0.88
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	1209 57.1%	578 27.3%	172 8.1%	79 3.7%	47 2.2%	33 1.6%	4.4 0.95
Q8. 授業の進行速度	1055 49.8%	565 26.7%	353 16.7%	61 2.9%	36 1.7%	48 2.3%	4.2 0.95
Q9. 学生の理解度の把握	1072 50.6%	616 29.1%	255 12.0%	76 3.6%	38 1.8%	61 2.9%	4.3 0.94
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	1270 60.0%	546 25.8%	175 8.3%	30 1.4%	28 1.3%	69 3.3%	4.5 0.82
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	1090 51.5%	395 18.6%	268 12.7%	60 2.8%	56 2.6%	249 11.8%	4.3 1.02
Q12. 質問に対する対応	1277 60.3%	437 20.6%	202 9.5%	18 0.8%	17 0.8%	167 7.9%	4.5 0.79
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	1112 52.5%	635 30.0%	197 9.3%	63 3.0%	45 2.1%	66 3.1%	4.3 0.93
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	1186 56.0%	551 26.0%	191 9.0%	45 2.1%	45 2.1%	100 4.7%	4.4 0.91
Q15. 教材の分かりやすさ	1118 52.8%	636 30.0%	176 8.3%	69 3.3%	62 2.9%	57 2.7%	4.3 0.97
Q16. 授業内容の理解度	968 45.7%	769 36.3%	186 8.8%	107 5.1%	54 2.5%	34 1.6%	4.2 0.98
Q17. 授業のシラバス準拠度	1286 60.7%	551 26.0%	109 5.1%	21 1.0%	21 1.0%	130 6.1%	4.5 0.74
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	1103 52.1%	648 30.6%	192 9.1%	76 3.6%	48 2.3%	51 2.4%	4.3 0.95
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	894 42.2%	715 33.8%	253 11.9%	122 5.8%	91 4.3%	43 2.0%	4.1 1.09
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	856 40.4%	404 19.1%	322 15.2%	36 1.7%	35 1.7%	465 22.0%	4.2 0.97
Q21. 授業の満足度	1036 48.9%	699 33.0%	199 9.4%	72 3.4%	62 2.9%	50 2.4%	4.2 0.97

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について

ここからは、科目カテゴリーごとに全科目との比較を通して単純集計結果を検討します。

<異文化交流科目：語学>

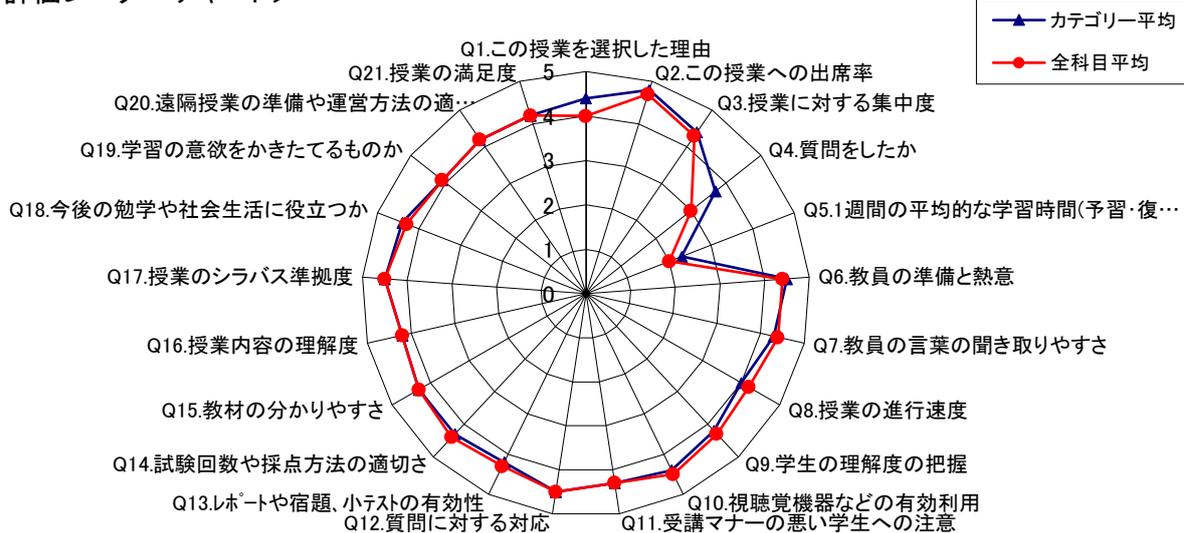
評価レーダーチャートより、異文化交流科目のうち語学における授業評価の全体的な傾向として、ほぼ例年通りと言えます。全科目平均においても「Q4. 質問をしたか」、「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」は低い水準にあるのですが、会話が中心かつ毎日の反復継続が求められる語学において、この学習時間の少なさは問題があるといえます。また、「Q6. 教員の準備と熱意」「Q11. 受講マナーが悪い学生への注意」以外はほぼ前年よりも若干下がっていますが、これは学生の側の変化も意味しているように思われます。すなわち、注意される項目は教員側の問題であるとともに学生側の問題でもあるのです。教員は例年通りの準備と情熱をもって授業をしていますが、学生側は難しく感じ理解度が低い。とにかく、学生が授業外の学習時間を増やし主体的に学習をするように教員側も意識を変えていく必要があるようです。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段:平均値
下段:標準偏差

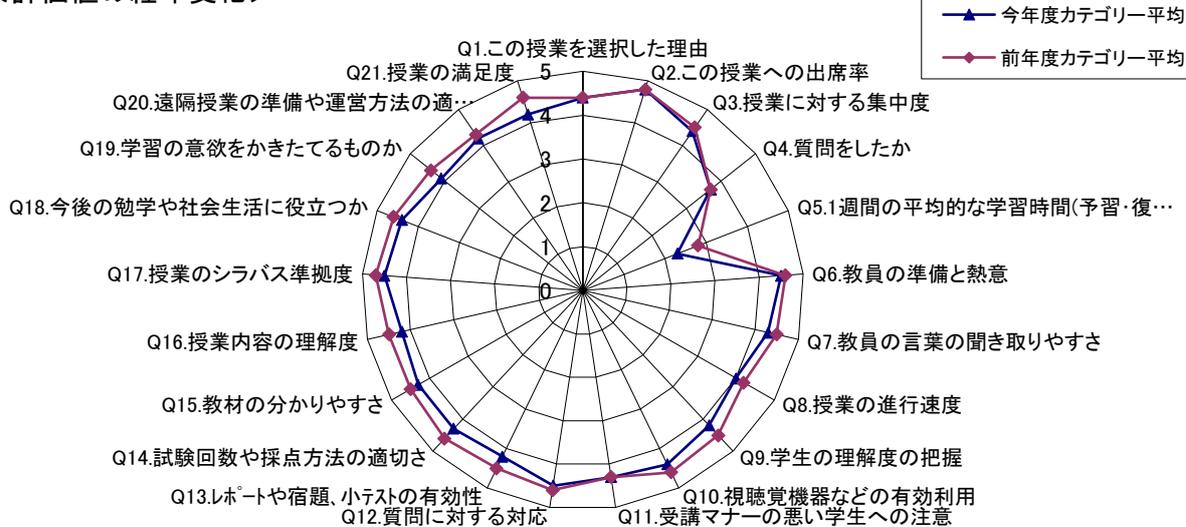
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリ	全科目
01. この授業を選択した理由	62 57.9%	21 19.6%	18 16.8%	1 0.9%	0 0.0%	5 4.7%	4.4 0.81	4.0 1.06
02. この授業への出席率	84 78.5%	21 19.6%	2 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.8 0.47	4.7 0.58
03. 授業に対する集中度	48 44.9%	50 46.7%	3 2.8%	1 0.9%	0 0.0%	5 4.7%	4.4 0.60	4.3 0.83
04. 質問をしたか	25 23.4%	44 41.1%	19 17.8%	13 12.1%	4 3.7%	2 1.9%	3.7 1.08	3.0 1.42
05. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	11 10.3%	8 7.5%	12 11.2%	43 40.2%	33 30.8%	0 0.0%	2.3 1.26	2.0 1.14
06. 教員の準備と熱意	67 62.6%	27 25.2%	9 8.4%	1 0.9%	2 1.9%	1 0.9%	4.5 0.84	4.4 0.88
07. 教員の言葉の聞き取りやすさ	50 46.7%	42 39.3%	9 8.4%	3 2.8%	2 1.9%	1 0.9%	4.3 0.87	4.4 0.95
08. 授業の進行速度	36 33.6%	38 35.5%	26 24.3%	3 2.8%	2 1.9%	2 1.9%	4.0 0.94	4.2 0.95
09. 学生の理解度の把握	44 41.1%	45 42.1%	10 9.3%	3 2.8%	3 2.8%	2 1.9%	4.2 0.92	4.3 0.94
010. 視聴覚機器などの有効利用	53 49.5%	40 37.4%	10 9.3%	0 0.0%	1 0.9%	3 2.8%	4.4 0.74	4.5 0.82
011. 受講マナーの悪い学生への注意	51 47.7%	37 34.6%	7 6.5%	4 3.7%	2 1.9%	6 5.6%	4.3 0.91	4.3 1.02
012. 質問に対する対応	67 62.6%	30 28.0%	3 2.8%	1 0.9%	2 1.9%	4 3.7%	4.5 0.77	4.5 0.79
013. レポートや宿題、小テストの有効性	51 47.7%	38 35.5%	6 5.6%	4 3.7%	5 4.7%	3 2.8%	4.2 1.04	4.3 0.93
014. 試験回数や採点方法の適切さ	53 49.5%	40 37.4%	7 6.5%	1 0.9%	4 3.7%	2 1.9%	4.3 0.93	4.4 0.91
015. 教材の分かりやすさ	51 47.7%	40 37.4%	11 10.3%	2 1.9%	2 1.9%	1 0.9%	4.3 0.87	4.3 0.97
016. 授業内容の理解度	47 43.9%	43 40.2%	9 8.4%	5 4.7%	2 1.9%	1 0.9%	4.2 0.92	4.2 0.98
017. 授業のシラバス準拠度	55 51.4%	34 31.8%	7 6.5%	0 0.0%	1 0.9%	10 9.3%	4.5 0.72	4.5 0.74
018. 今後の勉学や社会生活に役立つか	59 55.1%	34 31.8%	8 7.5%	3 2.8%	1 0.9%	2 1.9%	4.4 0.82	4.3 0.95
019. 学習の意欲をかきたてるものか	43 40.2%	41 38.3%	13 12.1%	5 4.7%	3 2.8%	2 1.9%	4.1 0.98	4.1 1.09
020. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	37 34.6%	18 16.8%	12 11.2%	2 1.9%	2 1.9%	36 33.6%	4.2 1.01	4.2 0.97
021. 授業の満足度	41 38.3%	49 45.8%	7 6.5%	6 5.6%	1 0.9%	3 2.8%	4.2 0.86	4.2 0.97

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



自由記述において、どの語学においても「ネイティブとの交流」「実際の会話」についての喜びが挙げられていました。「韓国の童謡を流してくれた」「熱心に授業してくれた」といった教員の熱意や工夫にも感謝していることがうかがわれ、改善意見はあまり多くはありませんでした。ただし、注意が必要なのは、「進度が遅い」「進度が速い」といった両方の感想が複数出ており、学生間の学力差が広がっていることと思われます。

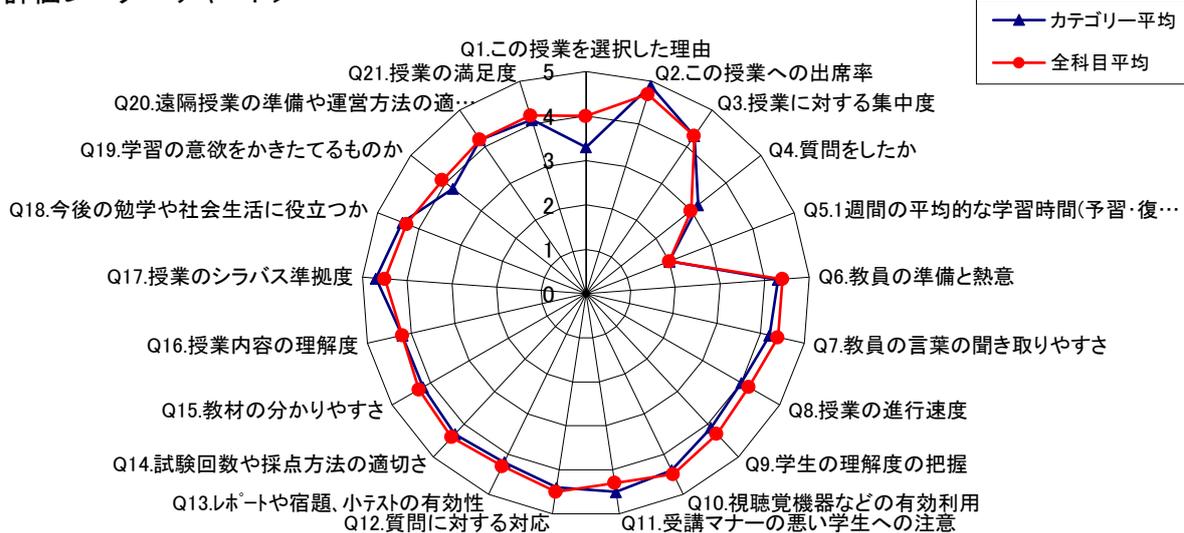
<異文化交流科目：社会と文化（社会文化ゼミナール）>

「社会と文化」という科目区分の中で唯一のゼミナール科目であり、1年生のほぼ全員が履修する科目です。評価レーダーチャートより、全科目平均とカテゴリ平均に大きな差は見られず、評価値の経年変化で見ても前年度のカテゴリ平均とほぼ同じ値になっています。社会文化ゼミナールは5週で講師が変わる形式のため、「集中しやすかった」、「それぞれで役立つことが学べた」といった肯定的な自由記述が多くありました。一方で、例年の課題として「Q4. 質問をしたか」「Q5. 1週間の平均的な学習時間」が低いことがあげられます。せっかくのやる気溢れる1年生前期の唯一のゼミ形式の授業の良さを引き出していく必要があるといえるでしょう。

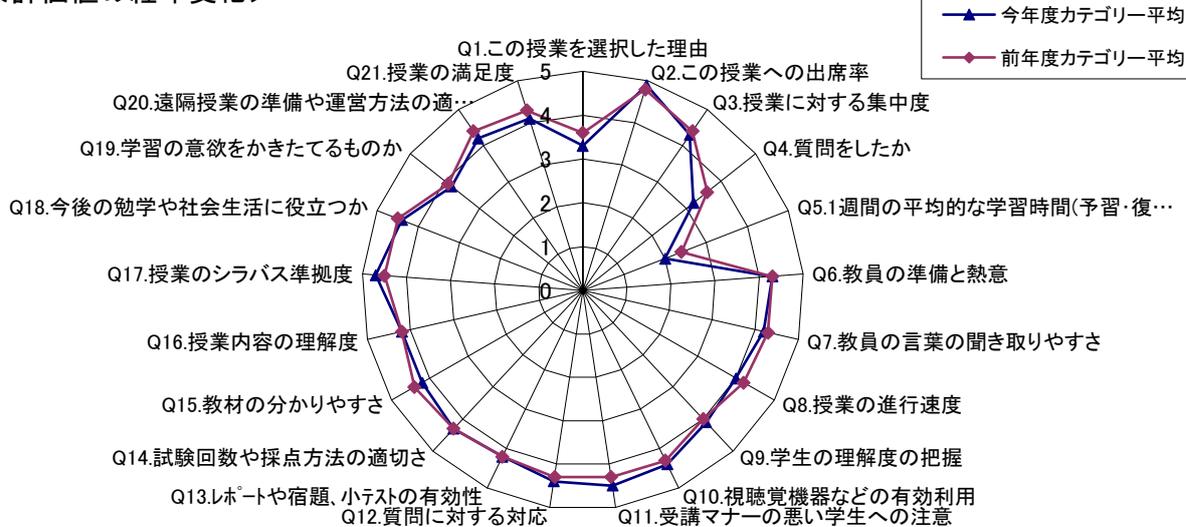
質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段:平均値	下段:標準偏差	全科目
	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー		
01. この授業を選択した理由	9 12.2%	11 14.9%	42 56.8%	1 1.4%	3 4.1%	8 10.8%	3.3 0.89	4.0 1.06	
02. この授業への出席率	64 86.5%	9 12.2%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.9 0.39	4.7 0.58	
03. 授業に対する集中度	29 39.2%	34 45.9%	7 9.5%	2 2.7%	0 0.0%	2 2.7%	4.3 0.74	4.3 0.83	
04. 質問をしたか	13 17.6%	22 29.7%	14 18.9%	13 17.6%	10 13.5%	2 2.7%	3.2 1.31	3.0 1.42	
05. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	6 8.1%	1 1.4%	8 10.8%	29 39.2%	30 40.5%	0 0.0%	2.0 1.14	2.0 1.14	
06. 教員の準備と熱意	36 48.6%	26 35.1%	7 9.5%	3 4.1%	1 1.4%	1 1.4%	4.3 0.90	4.4 0.88	
07. 教員の言葉の聞き取りやすさ	28 37.8%	35 47.3%	5 6.8%	5 6.8%	0 0.0%	1 1.4%	4.2 0.83	4.4 0.95	
08. 授業の進行速度	31 41.9%	19 25.7%	18 24.3%	5 6.8%	0 0.0%	1 1.4%	4.0 0.97	4.2 0.95	
09. 学生の理解度の把握	24 32.4%	35 47.3%	9 12.2%	5 6.8%	0 0.0%	1 1.4%	4.1 0.85	4.3 0.94	
010. 視聴覚機器などの有効利用	38 51.4%	22 29.7%	7 9.5%	1 1.4%	0 0.0%	6 8.1%	4.4 0.73	4.5 0.82	
011. 受講マナーの悪い学生への注意	40 54.1%	19 25.7%	6 8.1%	1 1.4%	0 0.0%	8 10.8%	4.5 0.72	4.3 1.02	
012. 質問に対する対応	39 52.7%	26 35.1%	5 6.8%	0 0.0%	1 1.4%	3 4.1%	4.4 0.75	4.5 0.79	
013. レポートや宿題、小テストの有効性	33 44.6%	26 35.1%	9 12.2%	5 6.8%	0 0.0%	1 1.4%	4.2 0.90	4.3 0.93	
014. 試験回数や採点方法の適切さ	32 43.2%	32 43.2%	8 10.8%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	4.3 0.77	4.4 0.91	
015. 教材の分かりやすさ	31 41.9%	31 41.9%	6 8.1%	4 5.4%	1 1.4%	1 1.4%	4.2 0.90	4.3 0.97	
016. 授業内容の理解度	26 35.1%	35 47.3%	9 12.2%	3 4.1%	0 0.0%	1 1.4%	4.2 0.79	4.2 0.98	
017. 授業のシラバス準拠度	51 68.9%	12 16.2%	3 4.1%	0 0.0%	1 1.4%	7 9.5%	4.7 0.70	4.5 0.74	
018. 今後の勉学や社会生活に役立つか	41 55.4%	23 31.1%	7 9.5%	1 1.4%	0 0.0%	2 2.7%	4.4 0.73	4.3 0.95	
019. 学習の意欲をかきたてるものか	25 33.8%	22 29.7%	11 14.9%	10 13.5%	2 2.7%	4 5.4%	3.8 1.15	4.1 1.09	
020. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	23 31.1%	15 20.3%	11 14.9%	0 0.0%	0 0.0%	25 33.8%	4.2 0.80	4.2 0.97	
021. 授業の満足度	27 36.5%	29 39.2%	12 16.2%	4 5.4%	0 0.0%	2 2.7%	4.1 0.87	4.2 0.97	

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<異文化交流科目：社会と文化（社会文化ゼミナール以外）>

異文化交流科目のうち、「社会文化ゼミナール」以外の「社会と文化」についての科目であり、講義形式の授業です。全科目平均と比較した場合、多くの項目で同様の結果でしたが、「Q4質問をしたか」については全科目平均よりも低く、経年変化でも前年度より低い結果になっていました。標準偏差も他の項目に対して高いものであり、講義間の差異、または個人差がある内容と言えます。回答分布から1の「全く質問しなかった」が最も多く、5の「よく質問した」と4「ある程度質問した」はそれぞれ約60となっています。ここで示している結果がカテゴリでの集計であることを考えると、質問をしている学生は重なっており、一部の少数と言えるでしょう。講義式では授業内での質問はしづらいと考えられますので、ICTを活かして質問を受け付ける工夫などが求められるでしょう。

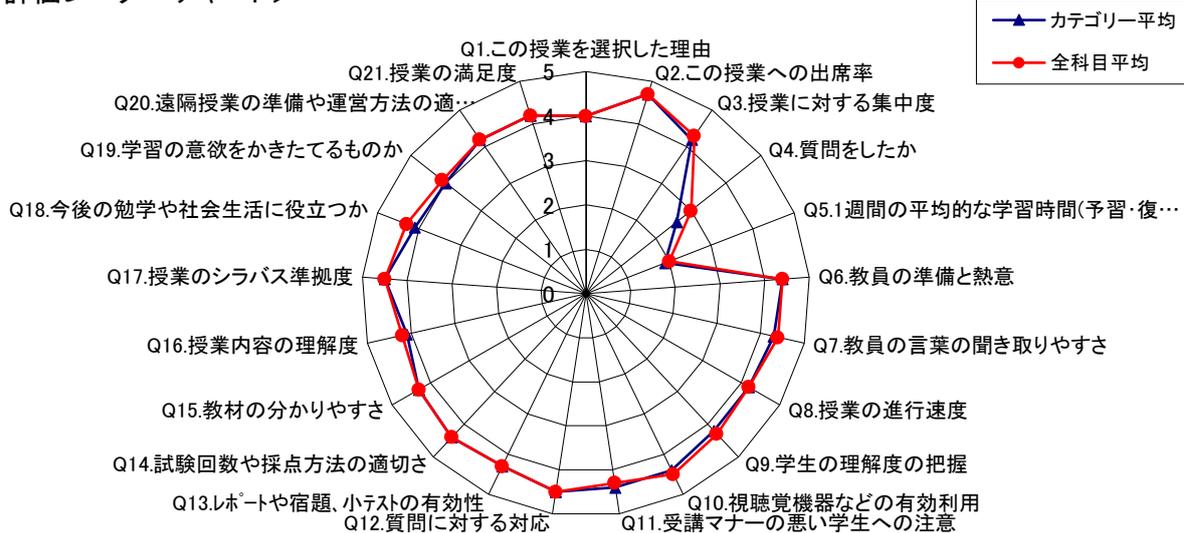
自由記述については、Q22については板書の見やすさやプリントの形態についての指摘などが少数ありましたが、多くはQ21において「わかりやすい」など好意的な評価が多いものでした。受講者の学習成果を高めるための各教員の取り組みは受講者に伝わっているものと思われる。ただ、自由記述の記載量が講義間でだいぶ異なります。アンケート回収率の問題もあるので一概には言えませんが、自由記述に書きたいと思ってもらえる授業づくりという観点も必要だと思われます。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段:平均値
下段:標準偏差

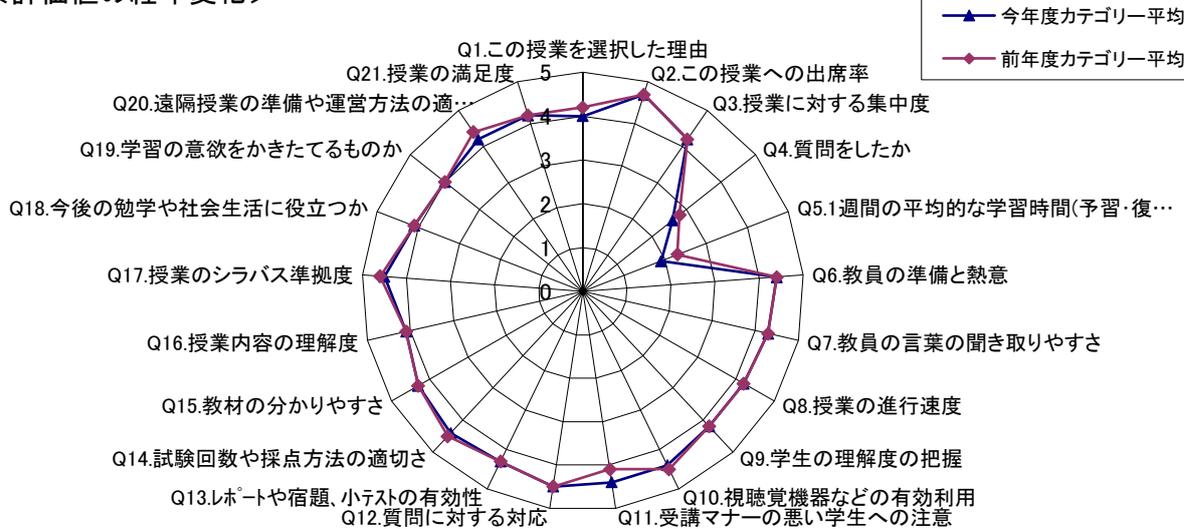
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリ	全科目
01. この授業を選択した理由	194 44.9%	91 21.1%	56 13.0%	38 8.8%	23 5.3%	30 6.9%	4.0 1.23	4.0 1.06
02. この授業への出席率	337 78.0%	87 20.1%	4 0.9%	2 0.5%	2 0.5%	0 0.0%	4.7 0.54	4.7 0.58
03. 授業に対する集中度	159 36.8%	185 42.8%	48 11.1%	24 5.6%	0 0.0%	16 3.7%	4.2 0.84	4.3 0.83
04. 質問をしたか	58 13.4%	59 13.7%	94 21.8%	84 19.4%	120 27.8%	17 3.9%	2.6 1.39	3.0 1.42
05. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	23 5.3%	15 3.5%	52 12.0%	143 33.1%	199 46.1%	0 0.0%	1.9 1.09	2.0 1.14
06. 教員の準備と熱意	250 57.9%	121 28.0%	40 9.3%	8 1.9%	3 0.7%	10 2.3%	4.4 0.80	4.4 0.88
07. 教員の言葉の聞き取りやすさ	234 54.2%	121 28.0%	42 9.7%	15 3.5%	11 2.5%	9 2.1%	4.3 0.97	4.4 0.95
08. 授業の進行速度	207 47.9%	110 25.5%	81 18.8%	13 3.0%	11 2.5%	10 2.3%	4.2 1.01	4.2 0.95
09. 学生の理解度の把握	200 46.3%	141 32.6%	57 13.2%	17 3.9%	3 0.7%	14 3.2%	4.2 0.89	4.3 0.94
010. 視聴覚機器などの有効利用	244 56.5%	123 28.5%	40 9.3%	6 1.4%	4 0.9%	15 3.5%	4.4 0.80	4.5 0.82
011. 受講マナーの悪い学生への注意	252 58.3%	91 21.1%	35 8.1%	17 3.9%	5 1.2%	32 7.4%	4.4 0.91	4.3 1.02
012. 質問に対する対応	266 61.6%	89 20.6%	36 8.3%	5 1.2%	2 0.5%	34 7.9%	4.5 0.75	4.5 0.79
013. レポートや宿題、小テストの有効性	206 47.7%	145 33.6%	44 10.2%	15 3.5%	4 0.9%	18 4.2%	4.3 0.87	4.3 0.93
014. 試験回数や採点方法の適切さ	241 55.8%	112 25.9%	43 10.0%	10 2.3%	3 0.7%	23 5.3%	4.4 0.83	4.4 0.91
015. 教材の分かりやすさ	218 50.5%	138 31.9%	31 7.2%	18 4.2%	12 2.8%	15 3.5%	4.3 0.98	4.3 0.97
016. 授業内容の理解度	172 39.8%	163 37.7%	46 10.6%	26 6.0%	14 3.2%	11 2.5%	4.1 1.03	4.2 0.98
017. 授業のシラバス準拠度	252 58.3%	113 26.2%	27 6.3%	6 1.4%	0 0.0%	34 7.9%	4.5 0.69	4.5 0.74
018. 今後の勉学や社会生活に役立つか	174 40.3%	155 35.9%	51 11.8%	22 5.1%	14 3.2%	16 3.7%	4.1 1.02	4.3 0.95
019. 学習の意欲をかきたてるものか	167 38.7%	152 35.2%	58 13.4%	26 6.0%	14 3.2%	15 3.5%	4.0 1.04	4.1 1.09
020. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	163 37.7%	96 22.2%	61 14.1%	10 2.3%	5 1.2%	97 22.5%	4.2 0.94	4.2 0.97
021. 授業の満足度	203 47.0%	148 34.3%	39 9.0%	16 3.7%	10 2.3%	16 3.7%	4.2 0.95	4.2 0.97

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<専門基礎科目>

専門基礎科目は全科目（経済システム理論I、経済と社会のしくみI、コンピューター・リテラシー）が必修科目となっています。<評価レーダーチャート>を見ると、専門基礎科目では全科目平均の評価を下回る項目が多くなっています。一方で、<評価値の経年変化>を見ると、専門基礎科目の評価は昨年と同水準となっている項目が多くなっています。

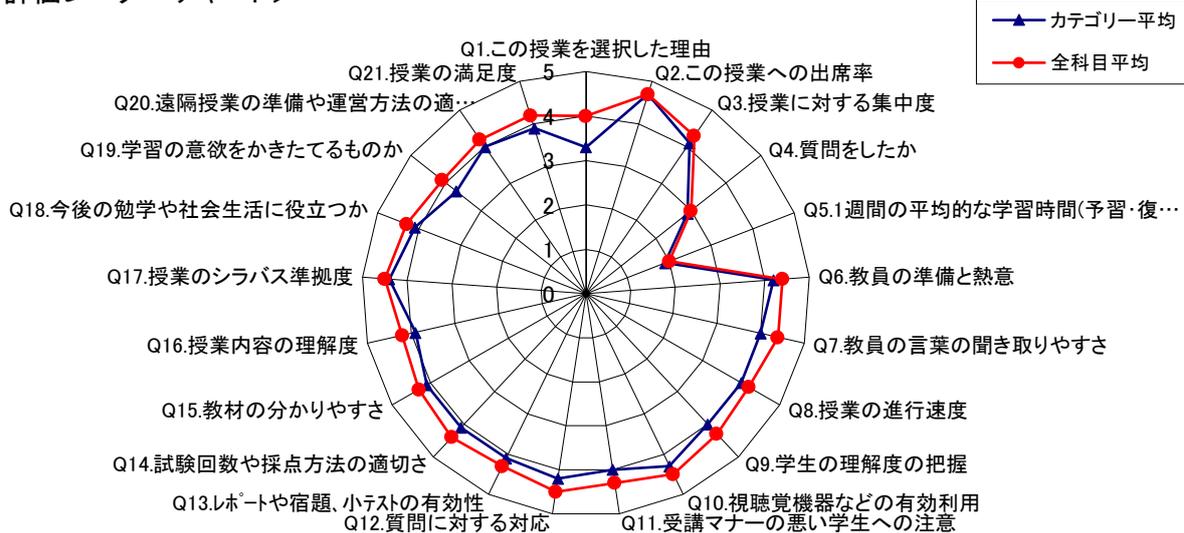
自由記述欄を見ると、良かった点として、スライドや動画の活用、配布資料の充実化、グループワーク導入、丁寧な説明・指導などがあげられていました。学生の理解を増進する工夫を引き続き取り入れていくことが、学生の理解度・満足度を高めるために有効と考えられます。今後、改善してほしい点として、同じ科目でもクラスによって、出席確認や試験の方法が異なることが指摘されています。昨年度も同様の指摘がありました。同じ科目を担当する教員間で、講義の到達目標などを改めて確認・共有する必要があると考えられます。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段:平均値
下段:標準偏差

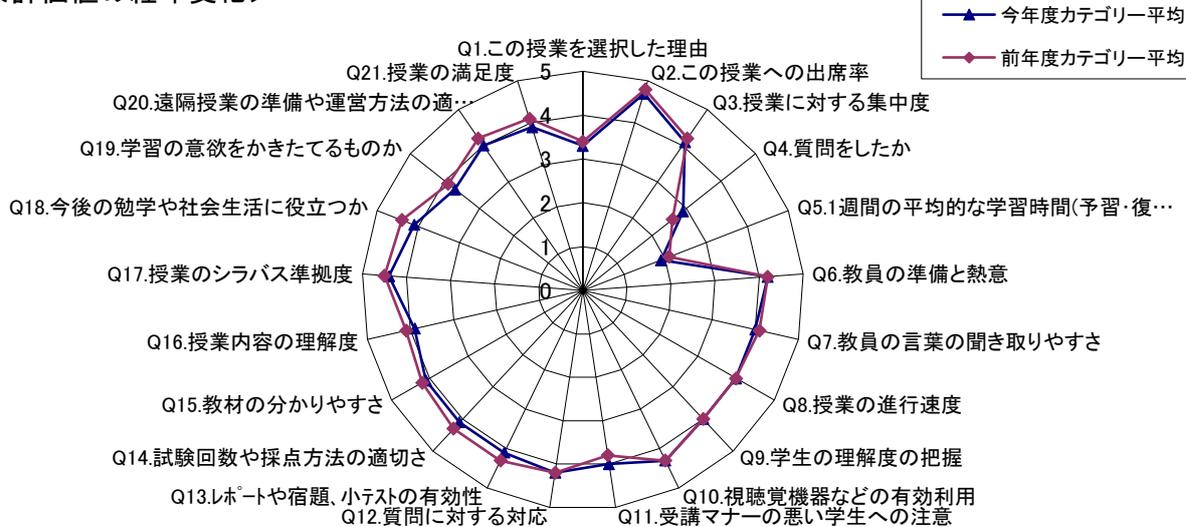
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリ	全科目
01. この授業を選択した理由	48 14.2%	24 7.1%	237 70.3%	8 2.4%	2 0.6%	18 5.3%	3.3 0.78	4.0 1.06
02. この授業への出席率	247 73.3%	82 24.3%	5 1.5%	2 0.6%	1 0.3%	0 0.0%	4.7 0.56	4.7 0.58
03. 授業に対する集中度	126 37.4%	135 40.1%	46 13.6%	17 5.0%	4 1.2%	9 2.7%	4.1 0.91	4.3 0.83
04. 質問をしたか	61 18.1%	66 19.6%	64 19.0%	37 11.0%	91 27.0%	18 5.3%	2.9 1.49	3.0 1.42
05. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	11 3.3%	19 5.6%	42 12.5%	112 33.2%	153 45.4%	0 0.0%	1.9 1.04	2.0 1.14
06. 教員の準備と熱意	163 48.4%	100 29.7%	38 11.3%	16 4.7%	12 3.6%	8 2.4%	4.2 1.05	4.4 0.88
07. 教員の言葉の聞き取りやすさ	150 44.5%	92 27.3%	50 14.8%	21 6.2%	17 5.0%	7 2.1%	4.0 1.15	4.4 0.95
08. 授業の進行速度	141 41.8%	85 25.2%	76 22.6%	13 3.9%	10 3.0%	12 3.6%	4.0 1.05	4.2 0.95
09. 学生の理解度の把握	133 39.5%	91 27.0%	66 19.6%	21 6.2%	10 3.0%	16 4.7%	4.0 1.08	4.3 0.94
010. 視聴覚機器などの有効利用	176 52.2%	92 27.3%	36 10.7%	8 2.4%	10 3.0%	15 4.5%	4.3 0.98	4.5 0.82
011. 受講マナーの悪い学生への注意	135 40.1%	61 18.1%	70 20.8%	17 5.0%	15 4.5%	39 11.6%	4.0 1.17	4.3 1.02
012. 質問に対する対応	154 45.7%	76 22.6%	62 18.4%	3 0.9%	5 1.5%	37 11.0%	4.2 0.92	4.5 0.79
013. レポートや宿題、小テストの有効性	146 43.3%	103 30.6%	48 14.2%	15 4.5%	13 3.9%	12 3.6%	4.1 1.06	4.3 0.93
014. 試験回数や採点方法の適切さ	160 47.5%	84 24.9%	44 13.1%	11 3.3%	16 4.7%	22 6.5%	4.1 1.11	4.4 0.91
015. 教材の分かりやすさ	155 46.0%	97 28.8%	48 14.2%	14 4.2%	13 3.9%	10 3.0%	4.1 1.07	4.3 0.97
016. 授業内容の理解度	124 36.8%	125 37.1%	36 10.7%	32 9.5%	14 4.2%	6 1.8%	3.9 1.12	4.2 0.98
017. 授業のシラバス準拠度	185 54.9%	89 26.4%	23 6.8%	5 1.5%	7 2.1%	28 8.3%	4.4 0.87	4.5 0.74
018. 今後の勉学や社会生活に役立つか	151 44.8%	104 30.9%	42 12.5%	18 5.3%	12 3.6%	10 3.0%	4.1 1.06	4.3 0.95
019. 学習の意欲をかきたてるものか	106 31.5%	92 27.3%	74 22.0%	32 9.5%	28 8.3%	5 1.5%	3.7 1.25	4.1 1.09
020. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	111 32.9%	63 18.7%	69 20.5%	8 2.4%	10 3.0%	76 22.6%	4.0 1.08	4.2 0.97
021. 授業の満足度	126 37.4%	106 31.5%	58 17.2%	19 5.6%	17 5.0%	11 3.3%	3.9 1.12	4.2 0.97

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<専門関連科目>

専門関連科目は、商学科・観光産業学科の専門科目に関連した科目となっており、幅広い内容の科目が含まれています。<評価レーダーチャート>を見ると、専門関連科目の評価は、全科目平均とほぼ一致しています。<評価値の経年変化>を見ると、昨年度の評価を上回る項目が多くなっています。対面授業の再開や教員の講義方法改善などが影響したものと考えられます。

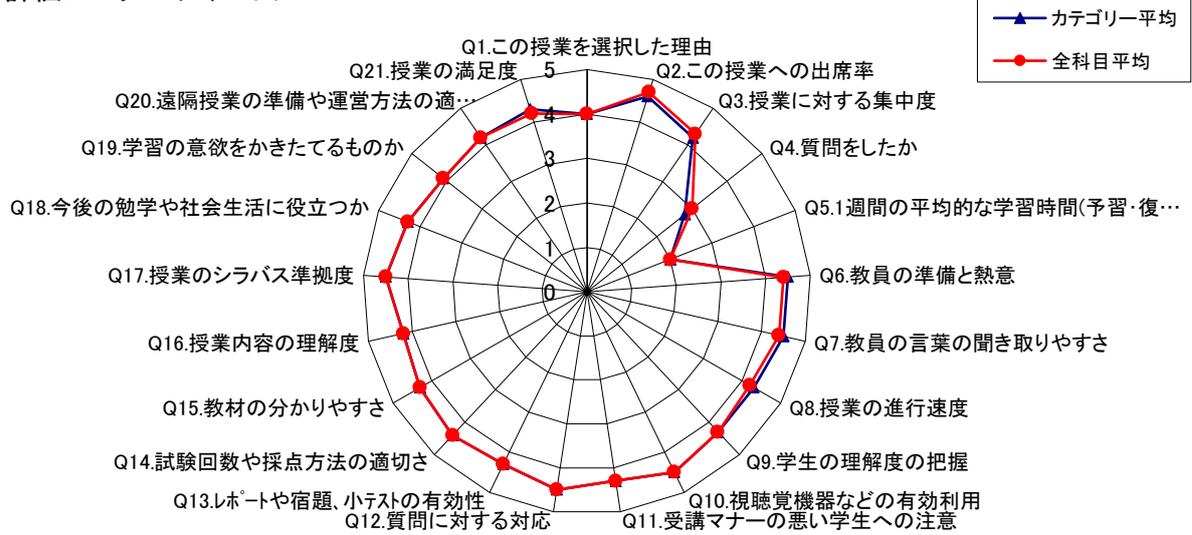
自由記述欄を見ると、良かった点として、動画の活用など教材の工夫、学生との活発なコミュニケーション、グループワーク・資料作成・プレゼンなどのアクティブラーニング導入などがあげられていました。少人数教育の特性を生かした取り組みが高く評価されているようです。一方で、今後、改善してほしい点は、理解促進のための例題を増やしてほしい、資料を配布してほしい、講義時間を遵守してほしいなど多岐にわたりました。教員は各講義の授業アンケート結果に基づいた対応が必要と考えられます。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段:平均値
下段:標準偏差

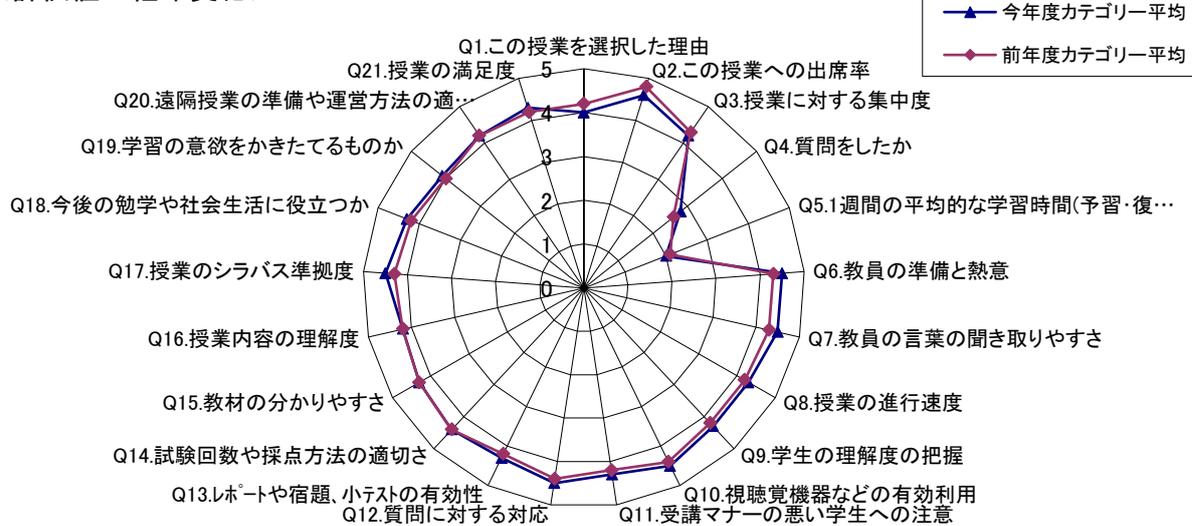
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリ	全科目
01. この授業を選択した理由	272 46.3%	115 19.6%	108 18.4%	60 10.2%	10 1.7%	23 3.9%	4.0 1.12	4.0 1.06
02. この授業への出席率	423 71.9%	143 24.3%	11 1.9%	0 0.0%	11 1.9%	0 0.0%	4.6 0.70	4.7 0.58
03. 授業に対する集中度	244 41.5%	248 42.2%	57 9.7%	22 3.7%	10 1.7%	7 1.2%	4.2 0.89	4.3 0.83
04. 質問をしたか	98 16.7%	91 15.5%	154 26.2%	71 12.1%	151 25.7%	23 3.9%	2.8 1.42	3.0 1.42
05. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	33 5.6%	40 6.8%	83 14.1%	167 28.4%	265 45.1%	0 0.0%	2.0 1.17	2.0 1.14
06. 教員の準備と熱意	381 64.8%	134 22.8%	33 5.6%	14 2.4%	15 2.6%	11 1.9%	4.5 0.91	4.4 0.88
07. 教員の言葉の聞き取りやすさ	375 63.8%	144 24.5%	31 5.3%	20 3.4%	9 1.5%	9 1.5%	4.5 0.87	4.4 0.95
08. 授業の進行速度	312 53.1%	160 27.2%	81 13.8%	12 2.0%	9 1.5%	14 2.4%	4.3 0.90	4.2 0.95
09. 学生の理解度の把握	321 54.6%	161 27.4%	60 10.2%	17 2.9%	13 2.2%	16 2.7%	4.3 0.94	4.3 0.94
010. 視聴覚機器などの有効利用	371 63.1%	140 23.8%	42 7.1%	9 1.5%	11 1.9%	15 2.6%	4.5 0.85	4.5 0.82
011. 受講マナーの悪い学生への注意	303 51.5%	108 18.4%	73 12.4%	13 2.2%	17 2.9%	74 12.6%	4.3 1.02	4.3 1.02
012. 質問に対する対応	364 61.9%	117 19.9%	47 8.0%	4 0.7%	5 0.9%	51 8.7%	4.5 0.76	4.5 0.79
013. レポートや宿題、小テストの有効性	316 53.7%	169 28.7%	56 9.5%	14 2.4%	15 2.6%	18 3.1%	4.3 0.94	4.3 0.93
014. 試験回数や採点方法の適切さ	341 58.0%	140 23.8%	54 9.2%	14 2.4%	15 2.6%	24 4.1%	4.4 0.95	4.4 0.91
015. 教材の分かりやすさ	311 52.9%	165 28.1%	51 8.7%	18 3.1%	22 3.7%	21 3.6%	4.3 1.02	4.3 0.97
016. 授業内容の理解度	280 47.6%	206 35.0%	50 8.5%	24 4.1%	18 3.1%	10 1.7%	4.2 0.98	4.2 0.98
017. 授業のシラバス準拠度	348 59.2%	168 28.6%	27 4.6%	6 1.0%	8 1.4%	31 5.3%	4.5 0.76	4.5 0.74
018. 今後の勉学や社会生活に役立つか	306 52.0%	183 31.1%	50 8.5%	21 3.6%	17 2.9%	11 1.9%	4.3 0.97	4.3 0.95
019. 学習の意欲をかきたてるものか	257 43.7%	218 37.1%	48 8.2%	26 4.4%	31 5.3%	8 1.4%	4.1 1.08	4.1 1.09
020. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	252 42.9%	125 21.3%	88 15.0%	7 1.2%	10 1.7%	106 18.0%	4.2 0.94	4.2 0.97
021. 授業の満足度	310 52.7%	185 31.5%	44 7.5%	14 2.4%	23 3.9%	12 2.0%	4.3 0.99	4.2 0.97

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<商学科専門科目>

評価レーダーチャートより、カテゴリー平均は、全科目平均とほぼ同じ傾向を見て取れます。とりわけ、「Q1.この授業を選択した理由」、「Q3. 授業に対する集中度」、「Q12レポートや宿題、小テストの有効性」、「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」などの項目は、全科目平均よりも高い評価値となっています。評価値の経年変化より、前年度のカテゴリー平均に比べ、「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」、「Q15. 教材のわかりやすさ」、「Q21. 授業の満足度」が低下している点に注意すべきです。「Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ」の低下は、全学的な対面授業への移行によるものと推察されます。

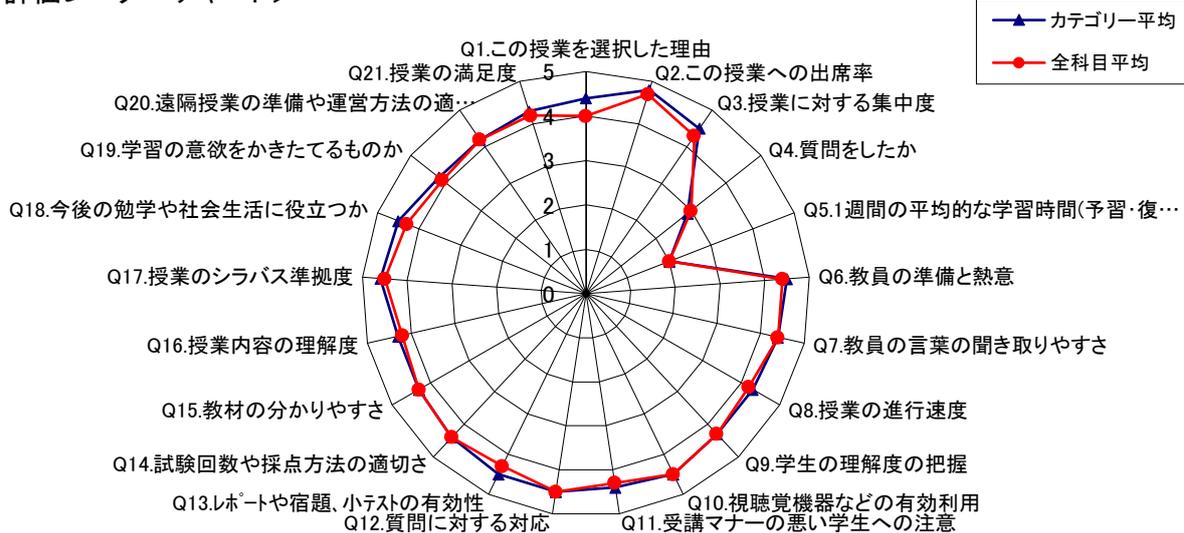
自由記述内容を見ると、このカテゴリー全体としての特徴は見いだせませんでした。概ね良好なコメントが多い一方、レポート提出や小テストの期日などの連絡不足に関する記述、資料や講義内容に関する苦情も見受けられました。各教科担当者がこれらの内容を十分に受け止め、対処することが必要です。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段:平均値
下段:標準偏差

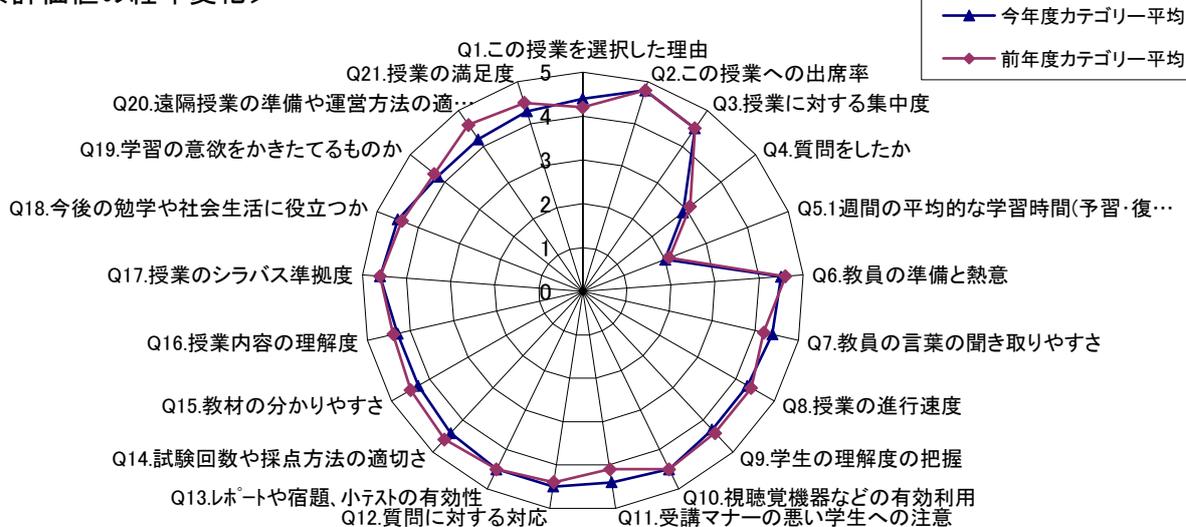
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリ	全科目
01. この授業を選択した理由	121 54.0%	79 35.3%	12 5.4%	8 3.6%	3 1.3%	1 0.4%	4.4 0.85	4.0 1.06
02. この授業への出席率	186 83.0%	33 14.7%	3 1.3%	1 0.4%	1 0.4%	0 0.0%	4.8 0.52	4.7 0.58
03. 授業に対する集中度	129 57.6%	75 33.5%	15 6.7%	2 0.9%	0 0.0%	3 1.3%	4.5 0.66	4.3 0.83
04. 質問をしたか	40 17.9%	34 15.2%	68 30.4%	23 10.3%	56 25.0%	3 1.3%	2.9 1.41	3.0 1.42
05. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	13 5.8%	9 4.0%	29 12.9%	84 37.5%	89 39.7%	0 0.0%	2.0 1.10	2.0 1.14
06. 教員の準備と熱意	141 62.9%	61 27.2%	11 4.9%	4 1.8%	1 0.4%	6 2.7%	4.5 0.72	4.4 0.88
07. 教員の言葉の聞き取りやすさ	135 60.3%	62 27.7%	13 5.8%	10 4.5%	2 0.9%	2 0.9%	4.4 0.86	4.4 0.95
08. 授業の進行速度	113 50.4%	68 30.4%	29 12.9%	8 3.6%	2 0.9%	4 1.8%	4.3 0.89	4.2 0.95
09. 学生の理解度の把握	121 54.0%	59 26.3%	28 12.5%	5 2.2%	6 2.7%	5 2.2%	4.3 0.96	4.3 0.94
010. 視聴覚機器などの有効利用	138 61.6%	60 26.8%	17 7.6%	1 0.4%	1 0.4%	7 3.1%	4.5 0.70	4.5 0.82
011. 受講マナーの悪い学生への注意	139 62.1%	32 14.3%	24 10.7%	2 0.9%	7 3.1%	20 8.9%	4.4 0.98	4.3 1.02
012. 質問に対する対応	126 56.3%	49 21.9%	26 11.6%	1 0.4%	1 0.4%	21 9.4%	4.5 0.77	4.5 0.79
013. レポートや宿題、小テストの有効性	132 58.9%	64 28.6%	15 6.7%	3 1.3%	3 1.3%	7 3.1%	4.5 0.80	4.3 0.93
014. 試験回数や採点方法の適切さ	125 55.8%	66 29.5%	13 5.8%	3 1.3%	4 1.8%	13 5.8%	4.4 0.83	4.4 0.91
015. 教材の分かりやすさ	118 52.7%	78 34.8%	15 6.7%	5 2.2%	6 2.7%	2 0.9%	4.3 0.91	4.3 0.97
016. 授業内容の理解度	104 46.4%	90 40.2%	18 8.0%	7 3.1%	4 1.8%	1 0.4%	4.3 0.87	4.2 0.98
017. 授業のシラバス準拠度	144 64.3%	62 27.7%	11 4.9%	0 0.0%	1 0.4%	6 2.7%	4.6 0.63	4.5 0.74
018. 今後の勉学や社会生活に役立つか	137 61.2%	66 29.5%	14 6.3%	2 0.9%	2 0.9%	3 1.3%	4.5 0.73	4.3 0.95
019. 学習の意欲をかきたてるものか	100 44.6%	79 35.3%	26 11.6%	9 4.0%	7 3.1%	3 1.3%	4.2 1.00	4.1 1.09
020. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	93 41.5%	37 16.5%	35 15.6%	5 2.2%	3 1.3%	51 22.8%	4.2 0.98	4.2 0.97
021. 授業の満足度	109 48.7%	84 37.5%	16 7.1%	5 2.2%	7 3.1%	3 1.3%	4.3 0.93	4.2 0.97

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<観光産業学科専門科目>

評価レーダーチャートより、カテゴリー平均は、ほぼ全科目平均とほぼ同じ傾向を見て取れます。とりわけ、「Q1.この授業を選択した理由」、「Q4. 質問をしたか」、「Q16. 授業内容の理解度」、「Q21. 授業の満足度」などの項目は、全科目平均よりも高い評価値となっています。評価値の経年変化より、前年度のカテゴリー平均と比較すると、「Q2. この授業への出席率」、「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」において今年度のカテゴリー平均の評価値が低下しています。観光産業学科専門科目における授業方法などを他のカテゴリーにおいて共有、さらなる改善を目指すことでよりよい授業が展開されることを期待します。

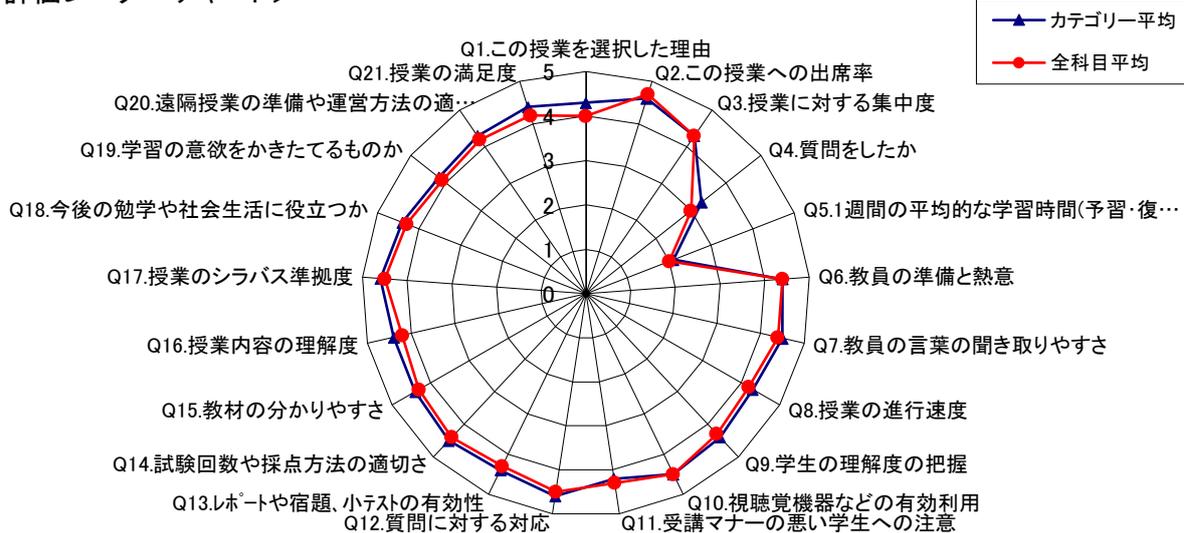
自由記述内容をみると、このカテゴリー全体としての特徴は見いだせませんでした。概ね良好なコメントが多い一方、授業時間・休憩時間の管理に関する記述、資料や講義内容に関する苦情も見受けられました。各教科担当者がこれらの内容を十分に受け止め、対処することが必要です。

回答分布(人数と平均値・標準偏差)
 上段:平均値
 下段:標準偏差

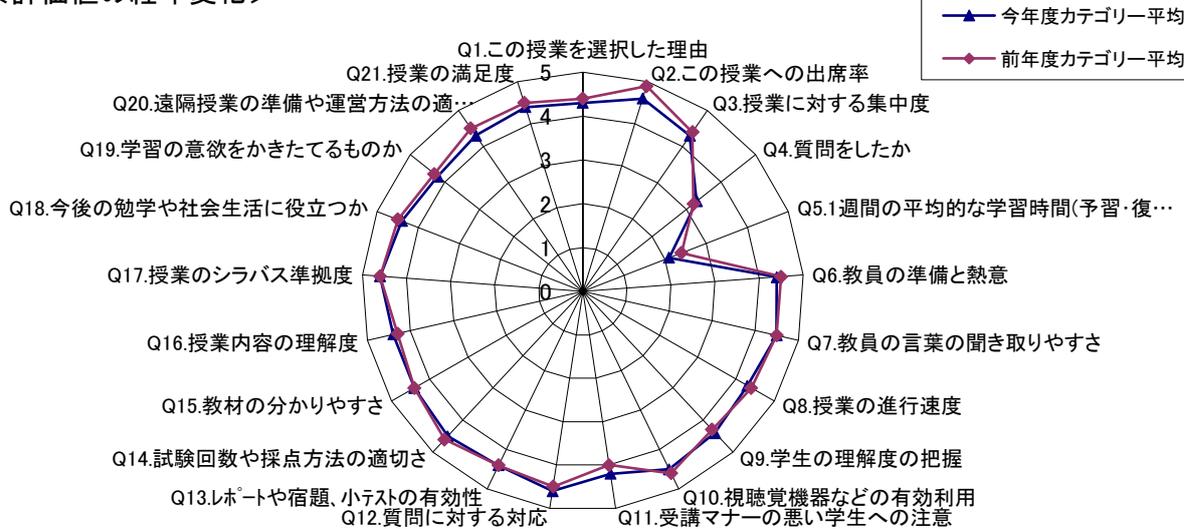
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリ	全科目
01. この授業を選択した理由	53 53.5%	22 22.2%	10 10.1%	8 8.1%	1 1.0%	5 5.1%	4.3 1.02	4.0 1.06
02. この授業への出席率	72 72.7%	23 23.2%	0 0.0%	4 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.69	4.7 0.58
03. 授業に対する集中度	45 45.5%	38 38.4%	6 6.1%	1 1.0%	3 3.0%	6 6.1%	4.3 0.89	4.3 0.83
04. 質問をしたか	17 17.2%	28 28.3%	19 19.2%	14 14.1%	11 11.1%	10 10.1%	3.3 1.28	3.0 1.42
05. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	9 9.1%	7 7.1%	16 16.2%	23 23.2%	44 44.4%	0 0.0%	2.1 1.30	2.0 1.14
06. 教員の準備と熱意	55 55.6%	25 25.3%	12 12.1%	3 3.0%	1 1.0%	3 3.0%	4.4 0.89	4.4 0.88
07. 教員の言葉の聞き取りやすさ	58 58.6%	29 29.3%	5 5.1%	3 3.0%	1 1.0%	3 3.0%	4.5 0.82	4.4 0.95
08. 授業の進行速度	48 48.5%	29 29.3%	13 13.1%	3 3.0%	1 1.0%	5 5.1%	4.3 0.89	4.2 0.95
09. 学生の理解度の把握	55 55.6%	27 27.3%	9 9.1%	1 1.0%	2 2.0%	5 5.1%	4.4 0.87	4.3 0.94
010. 視聴覚機器などの有効利用	63 63.6%	22 22.2%	9 9.1%	2 2.0%	0 0.0%	3 3.0%	4.5 0.75	4.5 0.82
011. 受講マナーの悪い学生への注意	33 33.3%	12 12.1%	13 13.1%	1 1.0%	2 2.0%	38 38.4%	4.2 1.04	4.3 1.02
012. 質問に対する対応	70 70.7%	15 15.2%	6 6.1%	2 2.0%	0 0.0%	6 6.1%	4.6 0.70	4.5 0.79
013. レポートや宿題、小テストの有効性	51 51.5%	30 30.3%	7 7.1%	3 3.0%	1 1.0%	7 7.1%	4.4 0.85	4.3 0.93
014. 試験回数や採点方法の適切さ	56 56.6%	20 20.2%	8 8.1%	4 4.0%	0 0.0%	11 11.1%	4.5 0.84	4.4 0.91
015. 教材の分かりやすさ	55 55.6%	28 28.3%	6 6.1%	3 3.0%	2 2.0%	5 5.1%	4.4 0.90	4.3 0.97
016. 授業内容の理解度	55 55.6%	31 31.3%	5 5.1%	4 4.0%	1 1.0%	3 3.0%	4.4 0.85	4.2 0.98
017. 授業のシラバス準拠度	67 67.7%	18 18.2%	4 4.0%	4 4.0%	0 0.0%	6 6.1%	4.6 0.77	4.5 0.74
018. 今後の勉学や社会生活に役立つか	53 53.5%	30 30.3%	6 6.1%	6 6.1%	0 0.0%	4 4.0%	4.4 0.86	4.3 0.95
019. 学習の意欲をかきたてるものか	46 46.5%	35 35.4%	5 5.1%	8 8.1%	1 1.0%	4 4.0%	4.2 0.96	4.1 1.09
020. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	44 44.4%	16 16.2%	13 13.1%	1 1.0%	1 1.0%	24 24.2%	4.3 0.90	4.2 0.97
021. 授業の満足度	55 55.6%	25 25.3%	11 11.1%	5 5.1%	0 0.0%	3 3.0%	4.4 0.88	4.2 0.97

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<専門キャリアアップ科目>

評価レーダーチャートより、カテゴリー平均は、ほぼすべての項目において全科目平均よりも高い結果となりました。このカテゴリーは、資格試験を意識した専門キャリアアップ科目という特性があり、「Q4. よく質問したか」、「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」、「Q15. 教材の分かりやすさ、」についても高い評価値となっています。ただし、「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」については、今年度の全科目平均と同程度ではあるが、昨年度と比較して低下しています。授業の時間以外での学習するための工夫をさらに進めることが求められます。

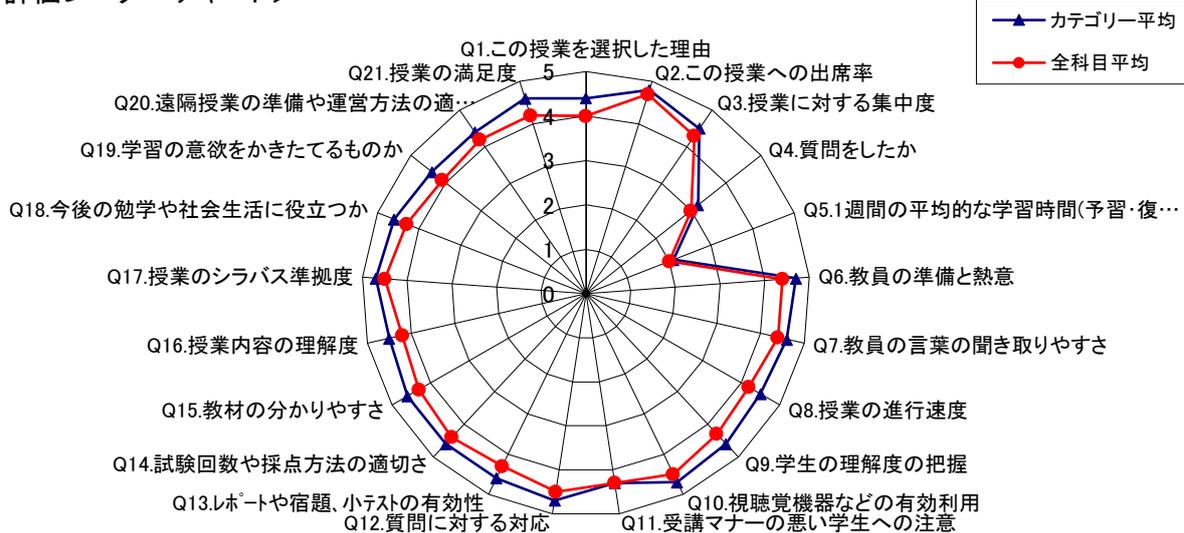
自由記述内容をみると、他のカテゴリーと比較して良好なコメントが多くありました。ネガティブなコメントも学生の持つスキルレベルの差に起因するものがほとんどでした。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段:平均値
下段:標準偏差

質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリ	全科目
Q1. この授業を選択した理由	104 51.2%	87 42.9%	7 3.4%	5 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 0.68	4.0 1.06
Q2. この授業への出席率	164 80.8%	36 17.7%	1 0.5%	2 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.8 0.49	4.7 0.58
Q3. 授業に対する集中度	118 58.1%	74 36.5%	8 3.9%	3 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.65	4.3 0.83
Q4. 質問をしたか	35 17.2%	53 26.1%	61 30.0%	21 10.3%	30 14.8%	3 1.5%	3.2 1.28	3.0 1.42
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	16 7.9%	10 4.9%	31 15.3%	71 35.0%	75 36.9%	0 0.0%	2.1 1.19	2.0 1.14
Q6. 教員の準備と熱意	148 72.9%	45 22.2%	6 3.0%	2 1.0%	1 0.5%	1 0.5%	4.7 0.63	4.4 0.88
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	144 70.9%	45 22.2%	10 4.9%	1 0.5%	2 1.0%	1 0.5%	4.6 0.69	4.4 0.95
Q8. 授業の進行速度	131 64.5%	48 23.6%	21 10.3%	2 1.0%	1 0.5%	0 0.0%	4.5 0.76	4.2 0.95
Q9. 学生の理解度の把握	137 67.5%	51 25.1%	10 4.9%	2 1.0%	1 0.5%	2 1.0%	4.6 0.68	4.3 0.94
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	149 73.4%	37 18.2%	9 4.4%	2 1.0%	1 0.5%	5 2.5%	4.7 0.66	4.5 0.82
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	103 50.7%	31 15.3%	30 14.8%	2 1.0%	7 3.4%	30 14.8%	4.3 1.05	4.3 1.02
Q12. 質問に対する対応	153 75.4%	27 13.3%	10 4.9%	2 1.0%	0 0.0%	11 5.4%	4.7 0.61	4.5 0.79
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	143 70.4%	47 23.2%	6 3.0%	4 2.0%	3 1.5%	0 0.0%	4.6 0.77	4.3 0.93
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	144 70.9%	44 21.7%	7 3.4%	2 1.0%	2 1.0%	4 2.0%	4.6 0.70	4.4 0.91
Q15. 教材の分かりやすさ	142 70.0%	50 24.6%	3 1.5%	3 1.5%	3 1.5%	2 1.0%	4.6 0.73	4.3 0.97
Q16. 授業内容の理解度	130 64.0%	58 28.6%	9 4.4%	4 2.0%	1 0.5%	1 0.5%	4.5 0.72	4.2 0.98
Q17. 授業のシラバス準拠度	148 72.9%	39 19.2%	6 3.0%	0 0.0%	3 1.5%	7 3.4%	4.7 0.68	4.5 0.74
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	148 72.9%	38 18.7%	11 5.4%	1 0.5%	2 1.0%	3 1.5%	4.6 0.70	4.3 0.95
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	116 57.1%	63 31.0%	14 6.9%	4 2.0%	4 2.0%	2 1.0%	4.4 0.86	4.1 1.09
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	102 50.2%	26 12.8%	26 12.8%	2 1.0%	3 1.5%	44 21.7%	4.4 0.93	4.2 0.97
Q21. 授業の満足度	133 65.5%	59 29.1%	6 3.0%	2 1.0%	3 1.5%	0 0.0%	4.6 0.74	4.2 0.97

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<教職科目に関する科目>

評価レーダーチャートより、このカテゴリーの平均は、全科目平均よりも高い結果となりました。これらは誤差の範囲内で有意な差があるものではないでしょうが、全科目的に低い傾向のある「Q4質問をしたか」が高い平均値を示しており、教職課程という少数且つ同一の学生達による受講という形態が、質問のしやすい環境を作っていると考えられます。同時に、前年度よりもカテゴリー平均が総じて低くなっているように、その特性そのものが学生の授業評価への同調性を生み出している可能性があります。受講者が少数であるため、一人の評価の増減が全体に大きく影響するということがあります。このことから教職課程の受講形態の特性を活かした講義の構築によって少人数教育のメリットとの相乗効果が望めると考えられます。

回答分布(人数と平均値・標準偏差)

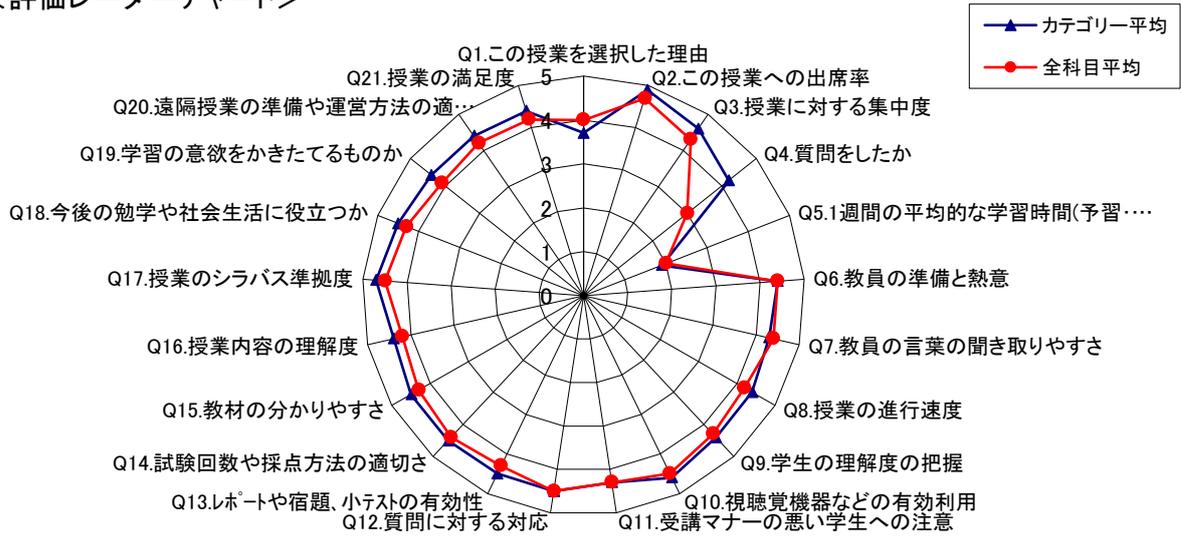
上段:平均値

下段:標準偏差

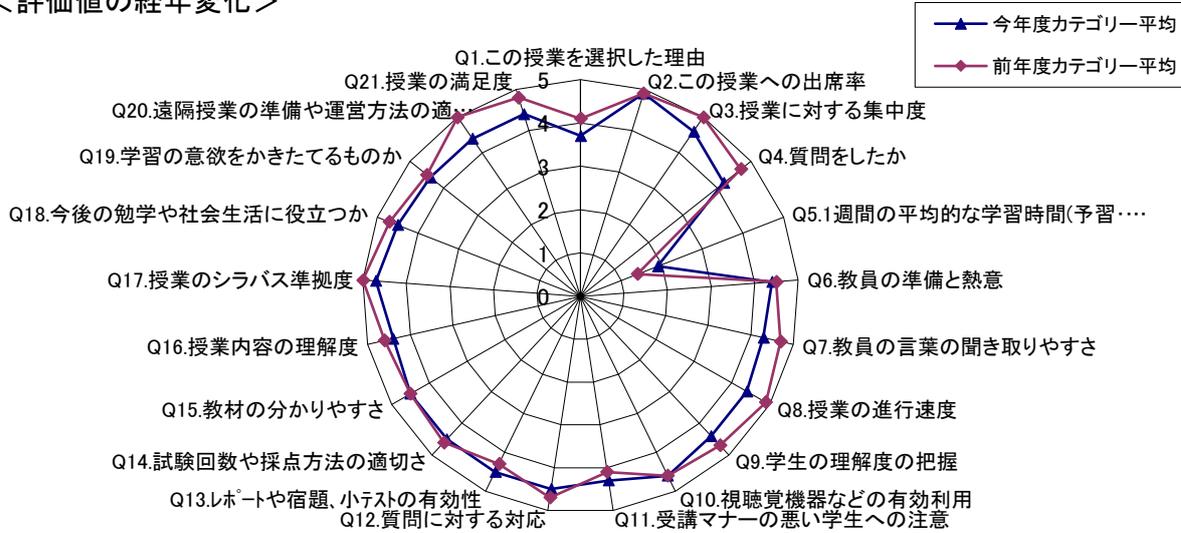
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目
01. この授業を選択した理由	15 27.8%	9 16.7%	30 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3.7 0.87	4.0 1.06
02. この授業への出席率	51 94.4%	3 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.9 0.23	4.7 0.58
03. 授業に対する集中度	39 72.2%	10 18.5%	2 3.7%	3 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.81	4.3 0.83
04. 質問をしたか	32 59.3%	7 13.0%	11 20.4%	1 1.9%	3 5.6%	0 0.0%	4.2 1.16	3.0 1.42
05. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	3 5.6%	2 3.7%	4 7.4%	21 38.9%	24 44.4%	0 0.0%	1.9 1.07	2.0 1.14
06. 教員の準備と熱意	37 68.5%	7 13.0%	6 11.1%	4 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 0.95	4.4 0.88
07. 教員の言葉の聞き取りやすさ	35 64.8%	8 14.8%	7 13.0%	1 1.9%	3 5.6%	0 0.0%	4.3 1.12	4.4 0.95
08. 授業の進行速度	36 66.7%	8 14.8%	8 14.8%	2 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 0.88	4.2 0.95
09. 学生の理解度の把握	37 68.5%	6 11.1%	6 11.1%	5 9.3%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 1.01	4.3 0.94
010. 視聴覚機器などの有効利用	38 70.4%	10 18.5%	5 9.3%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.74	4.5 0.82
011. 受講マナーの悪い学生への注意	34 63.0%	4 7.4%	10 18.5%	3 5.6%	1 1.9%	2 3.7%	4.3 1.08	4.3 1.02
012. 質問に対する対応	38 70.4%	8 14.8%	7 13.0%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	4.5 0.86	4.5 0.79
013. レポートや宿題、小テストの有効性	34 63.0%	13 24.1%	6 11.1%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	4.5 0.83	4.3 0.93
014. 試験回数や採点方法の適切さ	34 63.0%	13 24.1%	7 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.71	4.4 0.91
015. 教材の分かりやすさ	37 68.5%	9 16.7%	5 9.3%	2 3.7%	1 1.9%	0 0.0%	4.5 0.94	4.3 0.97
016. 授業内容の理解度	30 55.6%	18 33.3%	4 7.4%	2 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 0.78	4.2 0.98
017. 授業のシラバス準拠度	36 66.7%	16 29.6%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	4.7 0.51	4.5 0.74
018. 今後の勉学や社会生活に役立つか	34 63.0%	15 27.8%	3 5.6%	2 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.76	4.3 0.95
019. 学習の意欲をかきたてるものか	34 63.0%	13 24.1%	4 7.4%	2 3.7%	1 1.9%	0 0.0%	4.4 0.92	4.1 1.09
020. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	31 57.4%	8 14.8%	7 13.0%	1 1.9%	1 1.9%	6 11.1%	4.4 0.95	4.2 0.97
021. 授業の満足度	32 59.3%	14 25.9%	6 11.1%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	4.4 0.89	4.2 0.97

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



北海商科大学 教育方法改善委員会

〒062-8607

札幌市豊平区豊平6条6丁目10番

代表 (011) 841-1161